LD コンポーネントシステム

FORVISM FV7

取扱説明書

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ，正しくお使いください。
本機は日本国内専用モデルですので，外国で使用することはできません。

株式会社 ケンウッド
KENWOOD CORPORATION

本機は一般家庭用として作られています。
一般家庭用以外での使用（例えば飲食店等での営業用及び車両や船舶での使用など）により故障した場合は，保証期間内でも有償修理とさせていただくことがあります。

B60-0538-20 (JA) MC
95/12 11 10

はじめに

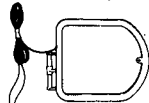
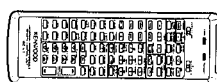
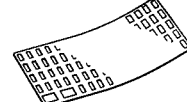
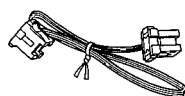
ケンウッド商品をお買い上げいただき，ありがとうございます。本機を正しくお使いいただくため本説明書をよくお読みになり，末永くご愛用くださるようお願いいたします。また，お読みになったあとも，大切に保存してください。

■目次

ご注意：⚠のついた項目は，感電や火災からあなたを守るため，ご使用の前に必ずお読みください。

■付属品

次の付属品がそろっていることを確認してください。

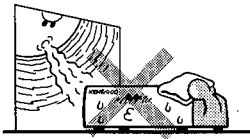
FM用簡易アンテナ（1本）　AMループアンテナ（1個）　ループアンテナスタンド（1個）　リモコン（1個）　リモコン用書き込みシート（1枚）

システムコントロール．コード（1本）　オーディオコード（2本）　ビデオコード（1本）　スピーカーコード 赤黒（2本）青黒（2本）　リモコン用乾電池 R03/UM-4（2個）

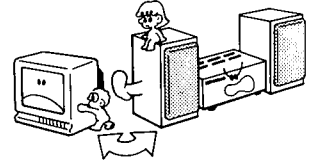
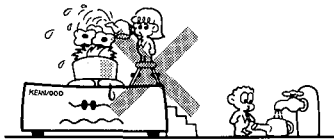
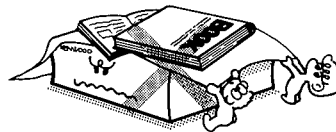
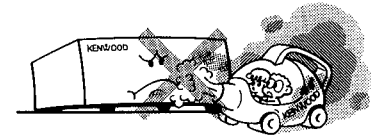
スピーカーコードはスピーカー部に，オーディオコード，ビデオコード，システムコントロールコードはCD/LDプレーヤー部に，その他の付属品はAVコントロールマスター部に，同梱されています。

取扱上のご注意

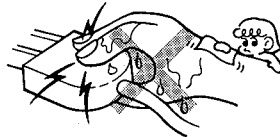
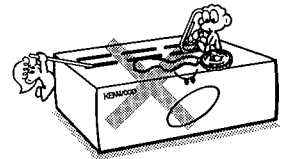
⚠ この頁は安全確保のために必ずお読みください

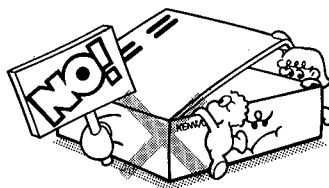
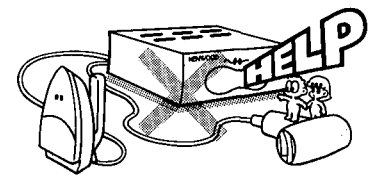
■設置上のご注意

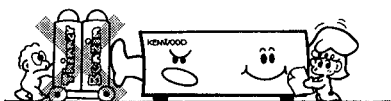
直射日光の当たる所，暖房器具など発熱物の近くは避けてください。

極端に寒い(水が凍るような)場所では十分な性能が発揮できないことがあります。

雑音が入る場合は，テレビからできるだけ離してご使用ください。

花びん，化粧品など液体の入ったものは，上に置かないでください。また，湿気の多いところは避けてください。

放熱をよくするため，本など，ものをセットの上に置かないでください。また，壁から10cmくらい離して置いてください。

不安定な棚などは避け，ホコリ，震動の少ない水平な場所に設置してください。
また，放熱孔をふさぐジュータン，ソファー，ベッド等の上では使用しないでください。

■安全上のご注意

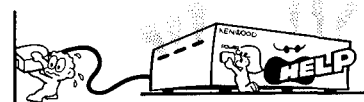
本機は，交流100V専用です。200Vでは絶対に使用しないでください。

電源プラグの抜き差しは，ぬれた手で行なわないでください。感電するおそれがあります。

ケースの空気孔等にヘアピン，縫い針などの金属物が入ると故障や感電の原因になります。とくにお子様へのご注意をお願いします。

電源コードを強くひっぱったり，無理に折り曲げたり，継ぎ足したりすることは，通電しなくなったり，ショートのおそれがありますのでやめましょう。抜くときは，プラグを持ってください。

ケースなどをはずし，内部に触れることは避けてください。内部に手を触れると感電，故障の原因となることがあります。

背面の電源コンセントは音響機器専用です。下記の表示容量より大きい消費電力の機器は接続しないでください。
・非連動電源コンセント　200W

■セットのお手入れ

前面パネル，ケースなどが汚れたときは，やわらかい布でからぶきします。シンナー，ベンジン，アルコールなどは変色の原因になることがありますので，ご使用にならないでください。

■異常にお気づきのさいは

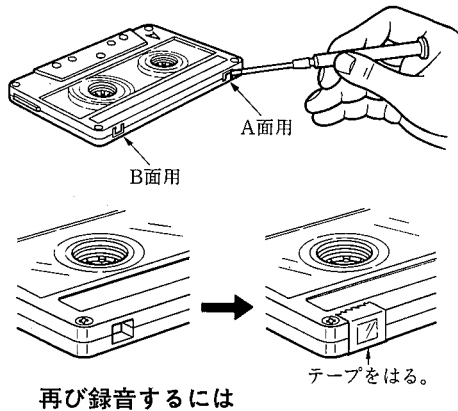
万一，煙が出ている，また変なにおいがするなどの異常がおきたときは，電源スイッチをすばやくOFFにして電源コードを抜いてください。そのうえで速やかに購入店または最寄りのケンウッドサービスセンター，営業所へご連絡ください。

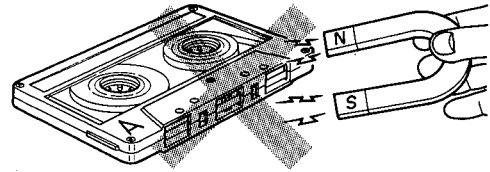
POWER OFF

ご使用の前に

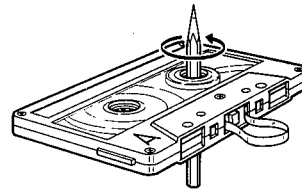
カセットテープについてのご注意

誤消去防止装置

大切な録音のあとには，カセットのツメを折ってください。誤消去・誤録音が防げます。

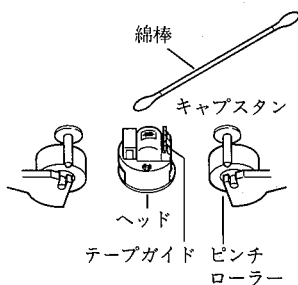
再び録音するには

カセットテープの保管について

直射日光下や暖房器などのそばに放置しないでください。また，磁石や磁気は近づけないでください。

テープがたるんでいる場合

このような場合には，リール軸に鉛筆などを差し込んで，テープのたるみをとってから装着してください。

ご注意：

1．**110/120分テープについて**
110/120分テープは大変薄く，ピンチローラーに巻きついたり，切れたりトラブルが発生しやすいので，ご使用はお避けください。

2．**エンドレステープについて**
エンドレステープは故障の原因となりますので，ご使用にならないでください。

ヘッドのお手入れ

ヘッド回りのクリーニング

いつまでも最良の状態でご使用になるには，テープ再生時間約10時間ごとに，ヘッド(録音／再生／消去)，キャプスタン，ピンチローラーのクリーニングを心がけてください。クリーニングは，次の手順で行ってください。

1．イジェクトキーを押し，カセットホルダーを開けます。
2．ヘッド(録音／再生／消去)，およびキャプスタン，ピンチローラーを，市販のクリーニング液を含ませた綿棒で注意深くクリーニングします。

ヘッドの消磁

録音・再生ヘッドが磁気を帯びると雑音が大きくなります。市販の消磁器（ヘッドイレーサー）で消磁してください。

ご注意：

ヘッドのテープガイドなど，精密に調整された部分があります。クリーニングの際は，引っかけたり，強い衝撃などを加えないように注意してください。

露付きにご注意

水蒸気が，冷たいものの表面にふれて水滴が付くことを"露付き"といいます。この現象がおきますと，正常に動作しないか，または，まったく動作しないことがあります。

これは故障ではありませんが，露がとれるまでしばらく乾燥させる必要があります。

本機の電源を入れた状態で，そのまま放置しておいてください。長くても数時間で露が乾いてきます。

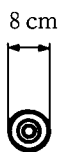
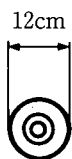
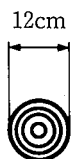
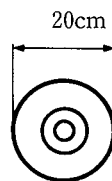
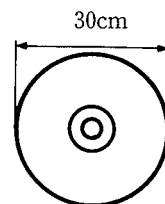
次のような状態のときは，特に露付きにご注意ください。

- 寒いところから暖かい部屋など気温差の大きいところへ持ち込んだとき。
- 暖房をきかせはじめたとき。
- 冷房のよくきいた部屋から，湿度が高く気温の高い部屋へ持ち込んだとき。
- その他本機の温度と外気温度との差が大きく，露付きの状態になりやすい条件のとき。

本機で使用できるディスク

ディスクの方式

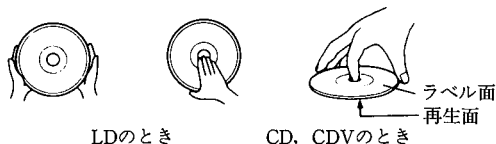
1. 本機は左記のマークの付いたディスクをお使いください。
2. 本機はCED方式及びVHD方式のビデオディスクは使用できません。
3. 本機は日本のテレビ方式であるNTSC方式に適合しています。ほかのテレビ方式（PAL, SECAM）の表示のあるディスクは使用できません。
4. ビデオシングルディスクのとき，映像再生が終了してから約10秒後に停止します。

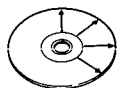
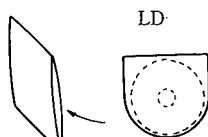
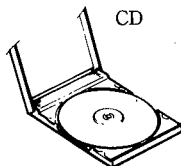
ディスクの種類

CDシングル	CD	CDV	ビデオシングルディスク	LDシングル	LD
8 cm	12cm	12cm	12cm	20cm	30cm
片面のみ 音声最大20分	片面のみ 音声最大74分	片面のみ 音声最大20分 映像最大５分	映像最大５分 音声（無音）４秒	映像 CAV：片面最大14分 映像 CLV：片面最大20分 （薄型LDシングルもアダプターなしで再生できます。）	映像 CAV：片面最大30分 映像 CLV：片面最大60分

CAV（標準ディスク）

ディスクが1800回／分の定速度（一定の角速度＝Constant Angular Velocity）で回転し，１周に１画面が記録されており，それぞれにフレームNo.が付けられています。静止画，コマ送り，マルチスピードなどの特殊画像再生ができます。

CLV（長時間ディスク）

ディスクの内周から外周へと回転速度を変えながら（一定の線速度＝Constant Linear Velocity）で再生します。ディスクの初めからの再生経過時間（タイムNo.）が記録されています。特殊画像再生はできませんが，CAVに比べ長時間の再生ができます。

ディスクの取扱上のご注意

LDのとき

CD，CDVのとき

取り扱い

再生面に触れないように持ってください。

再生面はもちろん，ラベル面にも紙やテープなどを貼らないでください。

お手入れ

ディスクに指紋や汚れがついたときは，やわらかい布などで，放射状に軽くふきとってください。

保存

使用しないときは，本機から取り出して，ケースに入れて保管してください。

ディスクの使用上のご注意

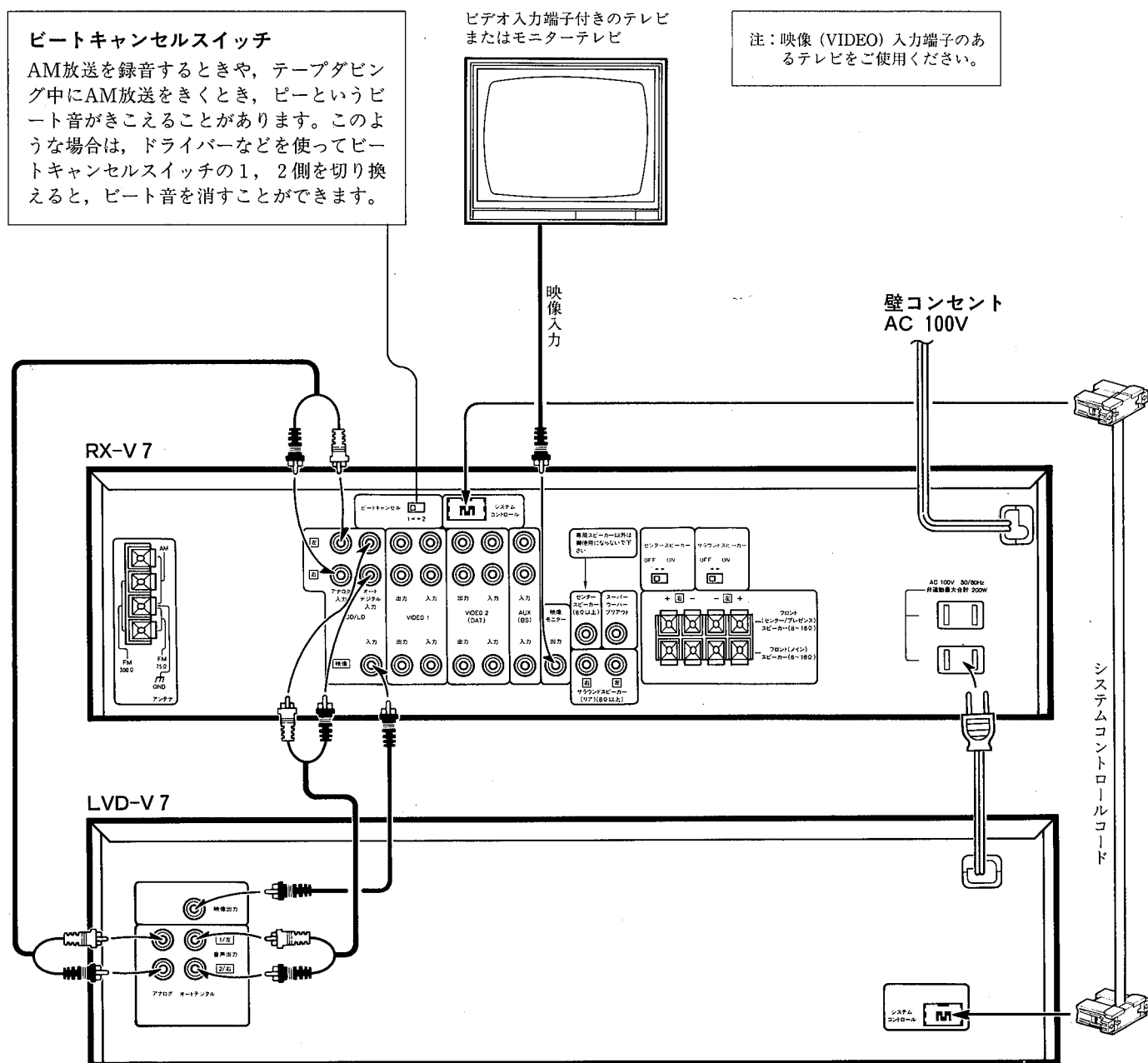
ひびやそりのあるディスクは使わない

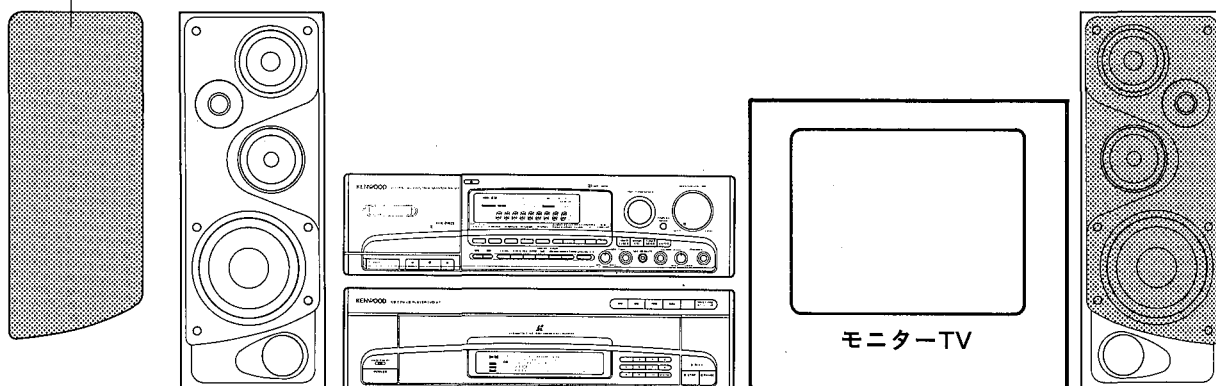
再生中，ディスクはプレーヤー内で高速回転しています。ひびや欠けのあるディスク，大きくそったディスク等は絶対に使用しないでください。プレーヤーの破損，故障の原因になります。

接続のしかた

■基本システムの接続

接続が完了するまで，電源コードのプラグをコンセントに差し込まないでください。

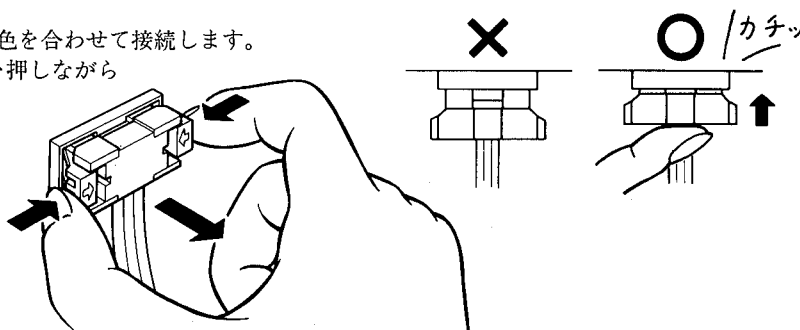
●アンテナ接続とスピーカー接続については，それぞれ“アンテナの接続”（8ページ）と“スピーカーの接続”（9ページ）をごらんください。

ご注意：
1.すべての接続コードは確実に差し込んでください。差し込みが不完全ですと，音が出なくなったり，雑音が発生することがあります。
2.接続コードを抜き差しする場合は，必ず電源コードを電源コンセントから抜いてください。電源コードを抜かずに接続コードの抜き差しを行うと，誤動作または破損の原因となります。
3.背面の電源コンセントには，表示されている定格以上の機器を接続しないでください。

標準の置きかた

●スピーカーを設置するときは，Lch（左チャンネル）とRch（右チャンネル）を正しく設置してください。もし逆に設置しますと不自然な音になります。

スピーカーの設置とテレビについて

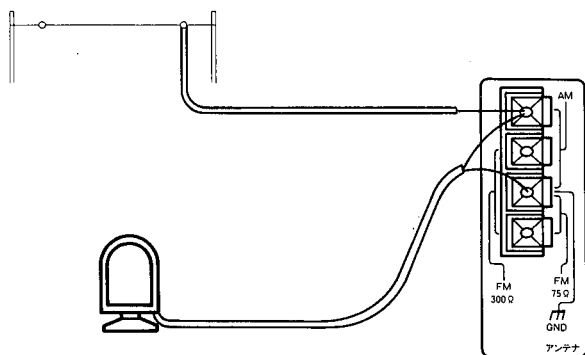
1.このシステムのスピーカーは，テレビとの近接使用が可能な防磁型（EIAJ規格）ですが，設置のしかたによっては，色ムラを生じる場合があります。そのときは，一度テレビの電源を切り，15分～30分後に再びスイッチを入れてください。テレビの自己消磁機能により，画面への影響が改善されます。その後も色ムラが残るような場合には，スピーカーを離してご使用ください。
2.近くに磁石など磁気を発生するものが置かれている場合には，スピーカーとの相互作用により，テレビに色ムラを発生することがありますので，設置にご注意ください。
3.テレビからの電磁波の誘導作用により，ステレオの電源スイッチがOFFのときでも，スピーカーから音が聞こえることがあります。その場合も，テレビからスピーカーを離して設置してください。

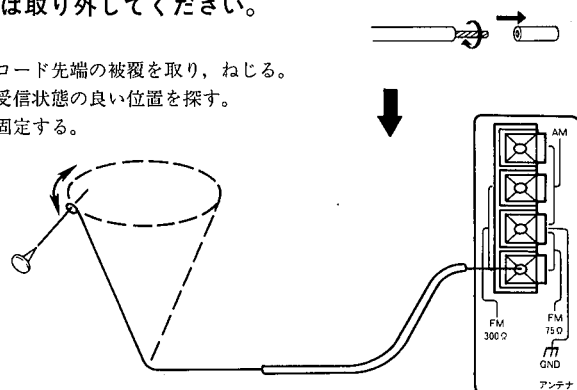
■システムコントロールコードの接続

●システムコントロールコードは，カチッと音がするまで平行に差し込み，確実にロックしてください。
●システムコントロールコードは，ソケットの色を合わせて接続します。
●コードを抜くときは，ソケット部分の両端を押しながらまっすぐに引き抜きます。

■AMループアンテナの接続

付属のアンテナは室内用です。本機，TV，スピーカーコード，電源コードからなるべく離れたところで，受信状態の一番よい方向に向けます。

■AM屋外アンテナの接続

受信状態が悪い場合は，ループアンテナをつないだまま6m以上のビニール被覆線を屋外に張ってください。

■FM簡易アンテナの接続

付属のアンテナは室内用で，一時的に使用するものです。安定した受信のために，なるべく早く屋外アンテナを接続してください。屋外アンテナを接続したら，室内用アンテナは取り外してください。

■FM屋外アンテナの接続

75Ω同軸ケーブルを使って屋内へ引き込み，FM75Ω端子に接続します。

FM専用アンテナ

10mm 10mm

AM

FM
300Ω

FM
75Ω

GND

アンテナ

■フロントスピーカーの接続

①レバーを押しながら　②コードを差し込む

③レバーから手をはなす

右　左

青

赤

①レバーのロック
をはずす

②コードを差し込む

③レバーをロックする

フロント
(センター/プレゼンス)
スピーカー(8～16Ω)

フロント(メイン)
スピーカー(8～16Ω)

- スピーカーコードの＋と－は絶対にショートさせないでください。
- 左右を逆にしたり，極性をまちがえて接続しますと，楽器などの位置がはっきりせず，不自然な音となります。正しく接続してください。

■サラウンドスピーカー，センタースピーカーの接続

スピーカースイッチを切り換えるときは，電源をOFFにして行なってください。

- 別売のサラウンドスピーカー，センタースピーカーを接続する場合は，各々のスピーカースイッチをONにしてください。

■スーパーウーハーの接続

■映像機器の接続

ビデオデッキ1

BSチューナー

音声入力

映像出力

音声出力

音声出力

映像入力

映像出力

出力　入力　VIDEO 1　出力　入力

出力　入力　VIDEO 2 (DAT)　出力　入力

入力　AUX (BS)　入力

音声入力

映像入力

音声出力

映像出力

ビデオデッキ2

●接続コードは，本システムには付属していません。

各部の名称

■CD/CDV/LDプレーヤー部（LVD-V 7）

■AVコントロールマスター部（RX-V7）

操作部

AUDIO TRACKキー
P.SINGキー
ECHO LEVELキー
DOLBYキー
P.MOVIEキー
N.B. CIRCUITキー
P.MUSICキー
KEY CONTROL DOWN, UPキー
P.GAMEキー

TUNER MODEキー
TIMER /CLOCKキー
ENTERキー
BAND /EXE.キー

INPUT/PRESENCEつまみ
リモコン受光部
DISPLAY MODEキー
MASTER VOLUMEつまみ
表示部13ページ
EJECTキー
ポイントインジケーター
プレイキー
POWERキー
早戻しキー
ストップキー
早送りキー
MIC端子
PHONES端子
MICボリュームつまみ
MIC REMOTE端子

POWERスイッチのSTAND-BYについて

本機では電源プラグをコンセントに接続すると，電源ON/OFFに関係なくAVコントロールマスターのディスプレイおよびCD/LDプレーヤーのインジケーターが点灯します。これは電源OFF時にも，メモリーの保護のため，微弱な通電を行なっているものです。これをスタンバイ状態といいます。ディスプレイおよびインジケーターが点灯しているとき，リモコン操作によっても電源のON/OFFができます。

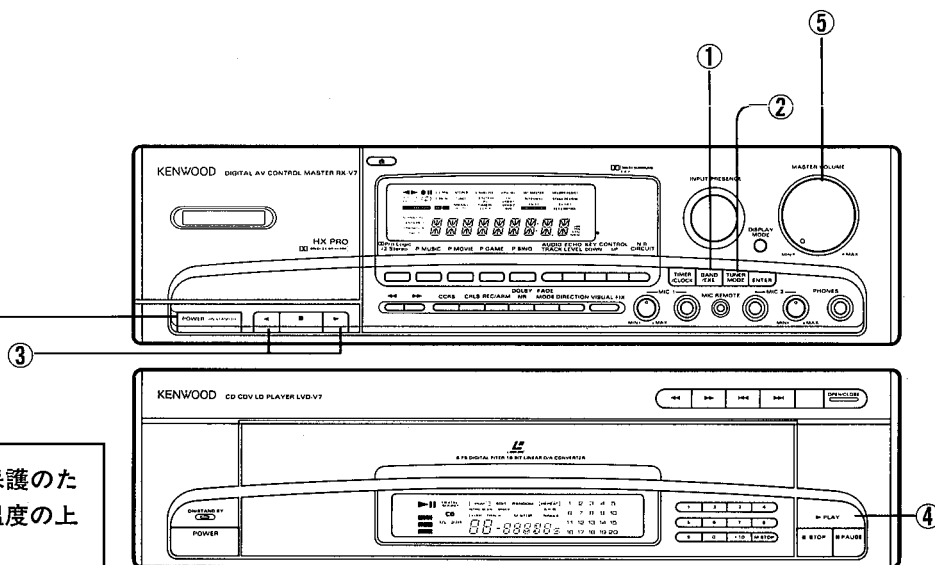
表示部

DISPLAY MODEキーについて

押すごとにディスプレイの表示が交互に"入力表示"と"プレゼンス表示"に変わります。INPUT/PRESENCEつまみの機能はディスプレイと同じになります。

音を出してみましょう

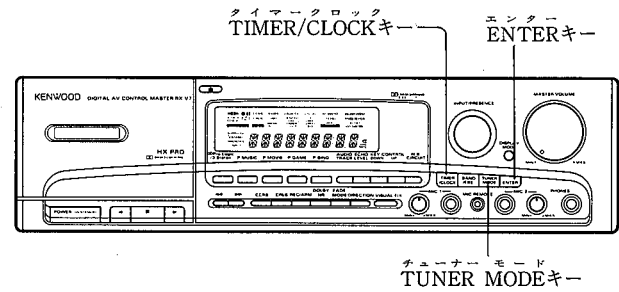
詳しくは，各部の操作ページをご覧ください。
AVコントロールマスター部の時刻合せは，次のページをお読みください。

AVコントロールマスターの電源キー（POWERキー）を押す

AVコントロールマスターは，回路素子保護のため冷却用のファンを内蔵しています。温度の上昇により自動的にファンが作動します。

	放送をきくとき	テープをきくとき	CD/LDをきくとき
1	**チューナーを選ぶ** BAND/EXE.キー①を押し，放送バンドを選ぶ。 BAND /EXE.	**テープをデッキに入れる** インジケーター	**ディスクをトレイに入れる** ラベル面を上に
2	**放送局を選ぶ** TUNER MODEキー②を押す。 TUNER MODE	**再生する** 再生キー③を押す。	**再生する** PLAYキー④を押す。 ► PLAY
3	**音量を調節する** MASTER VOLUME ●MASTER VOLUMEつまみ⑤を右にまわして，音の大きさを決めます。		

ご注意：音が出ない場合は6ページ以降の“接続のしかた”を，もう一度確認してください。

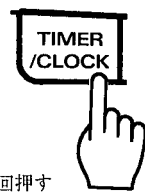
時刻合わせ

AVコントロールマスターには，時計機能がついています。タイマーを使う前に必ず正確な時刻を合わせてください。

1 時計設定モードにする

電源がONのとき

①時計表示にする

TIMER /CLOCK

2回押す

②5秒以内にENTERキーを押す

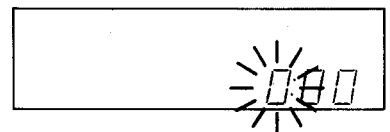
ENTER

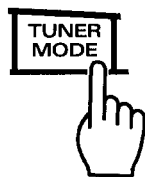
● 5秒間何もキーが押されないと元の表示になります。

スタンバイ状態のとき

ENTERキーを押す

ENTER

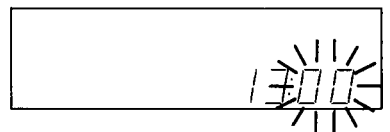
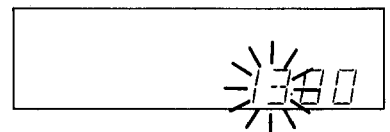
0:00

2 “時間”を合わせる

①TUNER MODEキーを押す

TUNER MODE

●押すごとに“時間”が変わります。

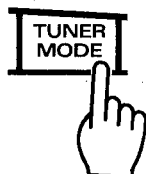
②“時間”をセットする

ENTER

13:00

●間違えたときは，TIMER/CLOCK キーを押し，手順1からやり直します。

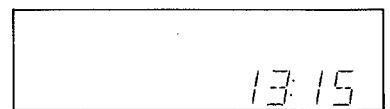
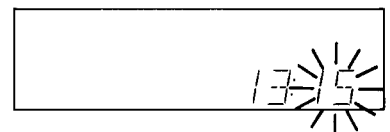
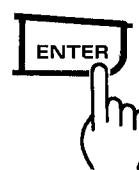
3 “分”を合わせる

①TUNER MODEキーを押す

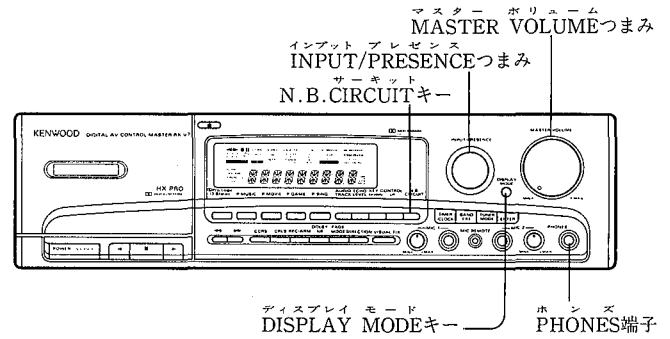
TUNER MODE

●押すごとに“分”が変わります。

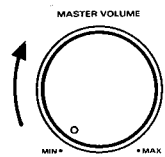
②“分”をセットする

ENTER

13:15

●間違えたときは，TIMER/CLOCK キーを押し，手順1からやり直します。

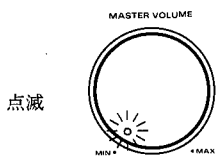
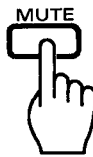
ご注意：
停電があったり，電源プラグをコンセントから抜いたときは時刻表示が点滅します。その場合は，もう一度時刻合わせをしてください。

アンプの操作

■音量を調節する

音　量

本体

リモコン

●リモコンで調節すると，キーを押している間，MASTER VOLUMEつまみのポイントインジケーターが点滅しながら回転します。

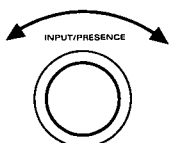
一時的に音を消したいとき

点滅

リモコン

●もう一度押すと，元の音量に戻ります。

■入力ソースを切換える

①入力表示にする　DISPLAY MODE

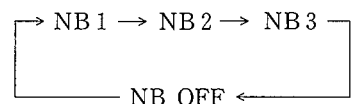
●［INPUT］インジケーターが点灯。

②INPUT/PRESENCEつまみを回す

TUNER ←→ TAPE ←→ CD/LD
(周波数表示)
AUX ←→ VIDEO 2 ←→ VIDEO 1

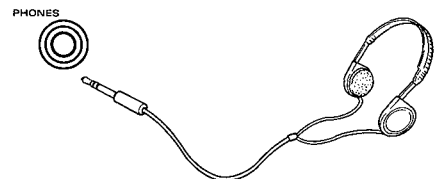
図のように切り換わりディスプレイに表示されます。

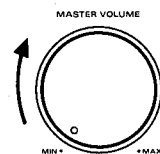
■低音を強調する

N.B.CIRCUITキーを押す

→ NB 1 → NB 2 → NB 3 → NB OFF

●押すごとに低音の強調のしかたが変わります。数字が大きいほど低音が強くなります。

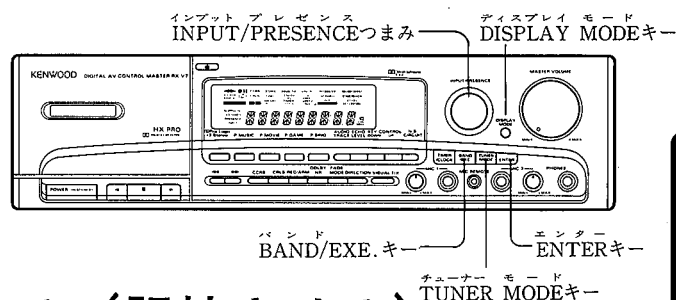
■ヘッドホンできく

1 ヘッドホンのプラグをPHONES端子に差し込む

●すべてのスピーカーから音が出なくなります。

2 音量を調節する

●プラグを抜くときは音量を絞ってから抜いてください。

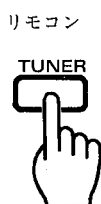
入力切換とイージーオペレーション機能について
(テープデッキとCD/LDプレーヤー)

AV・コントロールマスターの入力を切り換えるだけで，選んだ機器が再生を始めます。逆に，ソースになる機器を再生させると，入力切換が自動的にその機器に切り換わります。リモコンでも同様に操作できます。なお，電源を入れたときは，電源を切る前にきいていた入力ソース（TUNER，CD/LDなど）になります。

放送受信のしかた

■放送を受信し，プリセットする（記憶させる）

1 入力切換をTUNERにする

本体

①DISPLAY MODEキーを押して入力表示にする
②INPUT/PRESENCEつまみを回してTUNER（周波数表示）にする

リモコン

2 放送バンドを選ぶ

本体

リモコン

●キーを押すごとに放送バンドがFM←→AMに切り換わります。

3 選局モードを選ぶ

リモコン

●キーを押すごとにオート選局（“AUTO”点灯）またはマニュアル選局（“AUTO”消灯）になります。
●通常は“AUTO”（点灯）にしておきます。

4 希望する放送局を受信する

オート選局のとき

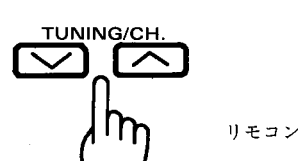
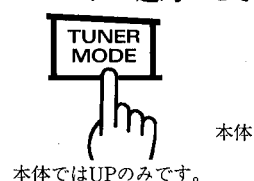
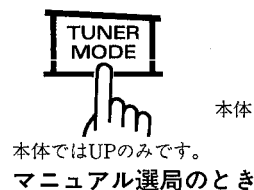
1回押す（放送局を受信すると自動的に止まる）

本体ではUPのみです。

マニュアル選局のとき

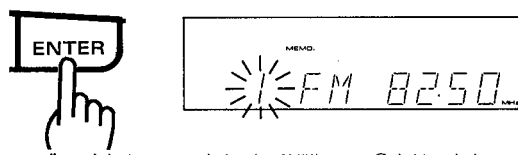
本体

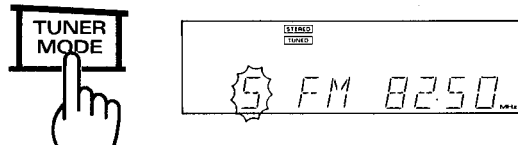
リモコン

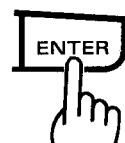
本体ではUPのみです。

希望局を受信するまで繰り返し押す，または押し続ける。

●放送局を受信すると TUNED が点灯します。
●電波が弱く雑音が多いときは，マニュアルで受信してください。このときFM放送は強制MONOとなります。

5 放送局を記憶させる

①ENTERキーを押す

“MEMO.”が点灯しているうち（5秒間）に，②を行います。

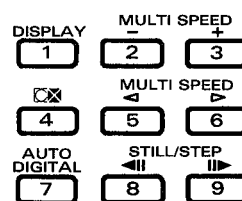
②プリセットチャンネルを選ぶ

●押すごとに数字が変わります。
●放送バンドに関係なく，放送局を9局記憶させることができます。

③記憶させる

●すでにプリセットしたチャンネルに記憶させると，新しい局に変わります。

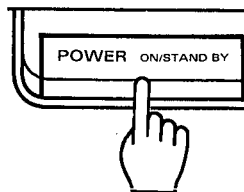
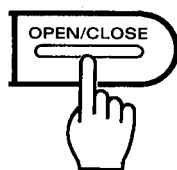
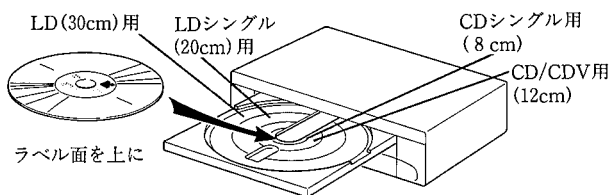
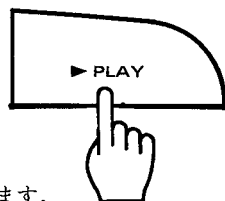
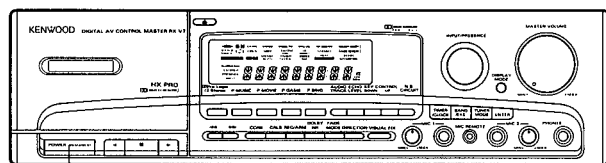
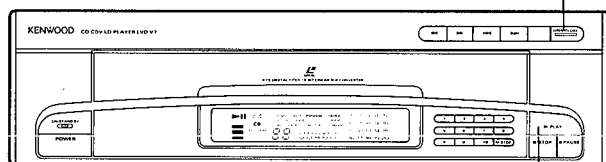
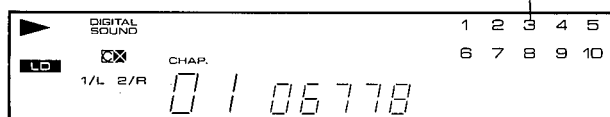
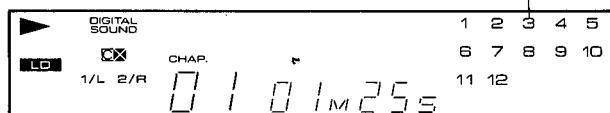
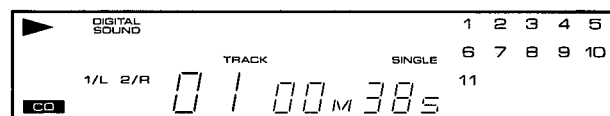
■プリセットした局を受信する

1 入力切換をTUNERにする

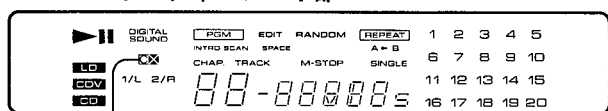
2 希望する放送局を選ぶ

プリセットした数字キーを押す（リモコン）

●受信した放送局の周波数を表示します。

CD，CDV，LDの再生のしかた

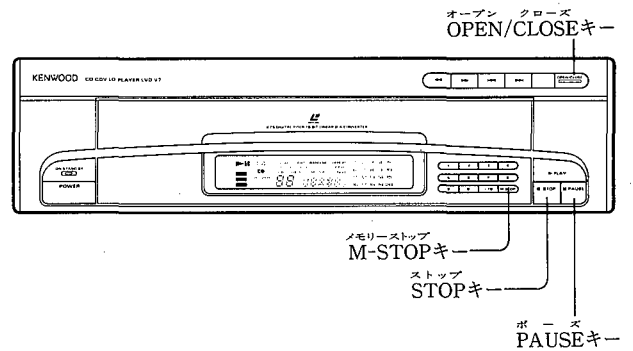
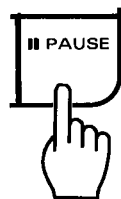
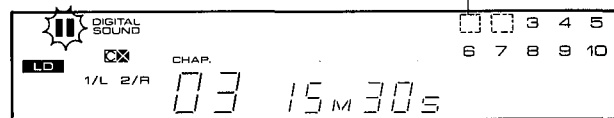
■ディスクを初めから再生する

ご注意：
他のソースを再生中にディスクを入れると，音が途切れることがあります。

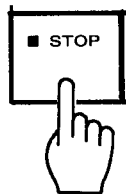
CX ノイズリダクションシステムについて

LVD-V 7のディスプレイ部

本システムは，CX ノイズリダクションシステムにより，雑音の少ない迫力ある音を再生することができます。CX マークのついたディスクを再生すると，自動的にこのシステムが作動し，ディスプレイのCXインジケーターが点灯します。
CXマークのついたディスクを再生しても，ディスプレイのCXインジケーターが点灯しないときは，リモコンのCXキーを押してください。

解除するときは，もう一度押す

再生位置を記憶する

ディスクを再生中に電源をOFFにし，再びONし再生したとき，ディスクは，電源をOFFしたときの位置から再生します。　　　　　　　（マニュアルモードのとき）

一時停止する

再生の終ったチャプターナンバー（トラックナンバー）は消灯します。

● 再生に戻るときは，PLAY キー ▶ を押す。

再生を止める

ディスクを取り出す

● ディスクトレイが出ますので，ディスクを取り出します。
● 再び OPEN/CLOSE キーを押して，ディスクトレイを閉じます。

MEMORY STOPについて

再生中に M-STOP キーを押すと，その位置を記憶して止まります。次に PLAY キー ▶ を押すと，記憶した位置から再生します。

● 電源をOFFにしても，その位置は記憶しています。
● MEMORY STOPを解除するには，もう一度 M-STOP キーまたは OPEN/CLOSE キーを押します。

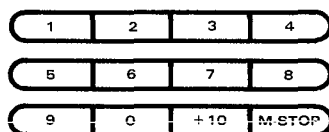
INTRO SCANについて　リモコン

INTRO SCAN キーを押すと，各チャプター（トラック）の初めの10秒間を，再生します。

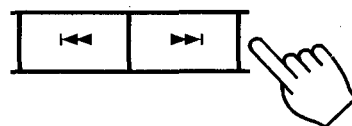
● プログラムモードのときは，プログラムの順に再生します。
● もう一度 INTRO SCAN キーを押すと，その位置から再生します。
● チャプターのないディスクではINTRO SCANしません。

■好きな場面(曲)を区切りでさがす

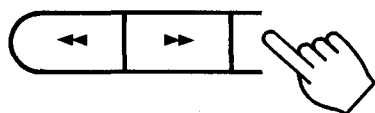
数字キーを使ってさがす

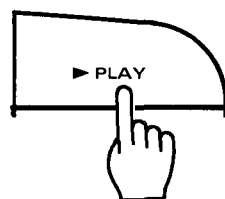
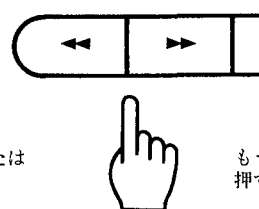
数字キーでチャプターナンバー(トラックナンバー)を指定する

入力例
23は, [+10] を2回押してから [3] を押す
40は, [+10] を4回押してから [0] を押す

スキップキーを使ってさがす

飛び越したい方向のスキップキーを押す

- [▶▶|] キーを押すごとに次のチャプター(トラック)の初めに進みます。
- 再生中に [|◀◀] キーを1回押すと, 現在のチャプター(トラック)の初めに戻ります。画像が出る前に繰り返し押すと, さらに前のチャプター(トラック)に戻ります。

■好きな場面(曲)を早送り・早戻ししてさがす

早送り・早戻ししたい向きのサーチキーを押す

- 2秒以上押し続けると指を離しても早送り・早戻しを続けます。
- 早送り・早戻しの状態では, 音声は出ません。(LD, CDVのビデオパート)
- 早送りでビデオパートの終わりまでくると, オーディオパートに移り, 通常再生になります。(CDV)
- オーディオパートからビデオパートへの早戻しはできません。(CDV)

通常の再生に戻すには

TOC (CD, CDV, LD)

すべてのCD, CDVディスクには音声信号以外にTOC (Table Of Contents) という情報がディスクの最初の部分に記録されています。TOCとは, 本の「目次」に相当し, 曲数や演奏時間の情報が入っています。

- LDディスクにもTOCが記録されているものがあります。

ご注意:
1. チャプターが記録されていないディスクでは, チャプターナンバーを使っての頭出しはできません。
2. TOCのないディスクで, ディスクに存在しないチャプターナンバーを指定すると, ディスクにないことを確認したあと停止します。
3. 早送り・早戻しをすると, 画面にノイズが入ることがあります。

チャプターナンバー (LD)

チャプターとは, 書物の「章」に相当するものです。それぞれのチャプターナンバーはジャケットに表示されています。

- ディスクによってはチャプターナンバーが記録されていないものもあります。

トラックナンバー (CDV, CD)

ディスクをいくつかのセクションで区切った番号のことです。CDVディスクでは, オーディオパートからビデオパートにわたってトラックナンバーが記録されています。それぞれのトラックナンバーは, ジャケットに表示されています。

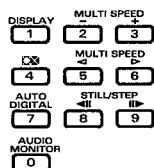
■好きな場面(曲)を時間で指定してさがす リモコンのみ(A面)

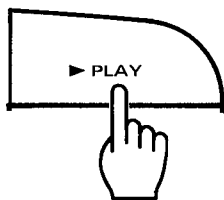
(タイムサーチ；LD-CAVを除く)

例：12分34秒の経過時間から見たいとき

1 タイムナンバーを指定する

①FRAME/TIMEキーを押す

②数字キーで [1] [2] [3] [4] の順に押す
(リモコンをAVコントロールマスター側に向ける)

- 8秒以内にタイムナンバーを入力しないと解除されます。
- 間違えたときは，[CLEAR]キーを押して，指定し直します。
- [CLEAR]キーを2回押すと，タイムサーチを行いません。
- タイムナンバーが，秒単位まで記録されていないディスクのときは，分単位（2桁）で指定します。

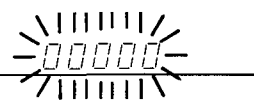
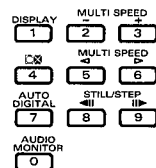
2 再生する

- しばらくすると，指定したタイムナンバー（時間）のところから再生が始まります。
- タイムナンバーを入力したあと，8秒以内に[PLAY]キー[►]を押さないと，解除されます。
- タイムサーチは，TOTAL経過時間で行なわれます。

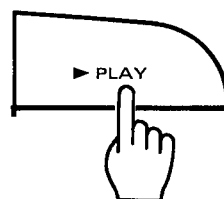
■好きな場面をフレームナンバーでさがす リモコンのみ(A面)

(フレームサーチ；LD-CAVのみ)

例：フレームナンバー“１２３４５”から見たいとき

1 フレームナンバーを指定する

①FRAME/TIMEキーを押す

②数字キーで [1] [2] [3] [4] [5] の順に押す
(リモコンをAVコントロールマスター側に向ける)

- 8秒以内にフレームナンバーを入力しないと解除されます。
- 間違えたときは，[CLEAR]キーを押して，指定し直します。
- [CLEAR]キーを2回押すと，フレームサーチを行いません。

2 再生する

- しばらくすると，指定したフレームナンバーの画像から再生が始まります。
- フレームナンバーを入力したあと，8秒以内に[PLAY]キー[►]を押さないと，解除されます。

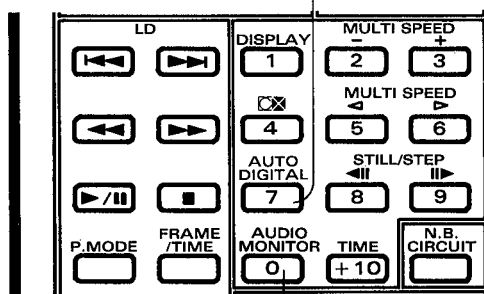
ご注意：

1. ディスクに記録されていないタイムナンバー，フレームナンバーを指定すると，ディスクにないことを確認したあと停止します。
2. A-Bリピート再生中はタイムサーチ，フレームサーチはできません。
3. CDVでは再生中のみタイムサーチが可能です。オーディオパート再生中はオーディオパートのみ，ビデオパート再生中はビデオパートのみのサーチになります。
4. 静止画や一時停止した場面からタイムサーチ（フレームサーチ）をすると，指定したタイムナンバー（フレームナンバー）をサーチ後，タイムサーチ（フレームサーチ）前の状態に戻ります。通常再生するにはもう一度[PLAY]キー[►]を押してください。

タイムナンバー

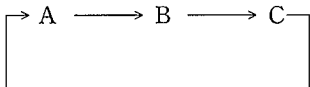
タイムとは，長時間ディスク（CLV）に記録されている，ディスクの初めからの再生経過時間をいい，これをタイムナンバーと呼びます。ディスクによって「秒」単位まで記録されているものと，「分」単位のものがあります。

フレームナンバー（LD）

フレームとは，標準ディスク（CAV）に記録されている画像1枚1枚をいい，書物の「頁」に相当します。ディスクに記録されているフレームナンバーの指定で，見たい場面から再生することができます。

■ききたい音声を選ぶ　リモコンのみ(B面)

リモコンのAUDIO MONITORキーを押す

AUDIO MONITORキーを押すごとに切り換わります

	きこえる音声		表示	
	ステレオディスク	2ヶ国語(BILINGUAL)	ディスプレイ	テレビ画面
A	ステレオ	音声1(左) 音声2(右)	1/L　2/R	STEREO
B	左チャンネル	音声1(左)	1/L	1/L
C	右チャンネル	音声2(右)	2/R	2/R

●電源を入れたときは，ステレオ音声（表A）になっています。（左）または（右）の音声のみをおききになりたいときや，2ヶ国語の日本語または，英語だけを選ぶときに，切り換えます。

■ディジタル音声付ディスクの再生　リモコンのみ(B面)

LDにも録音されている音声には，デジタル録音とアナログ録音の2種類があります。デジタル録音のLDにはアナログ音声も同時に録音されており，再生出力をどちらか選ぶことができます。

図のマークの付いたディスクは，デジタル音声が優先して出力されます。アナログ音声をきくには，

リモコンのAUTO DIGITALキーを押します。

digital SOUND

digital AUDIO

digital SOUND MULTI AUDIO

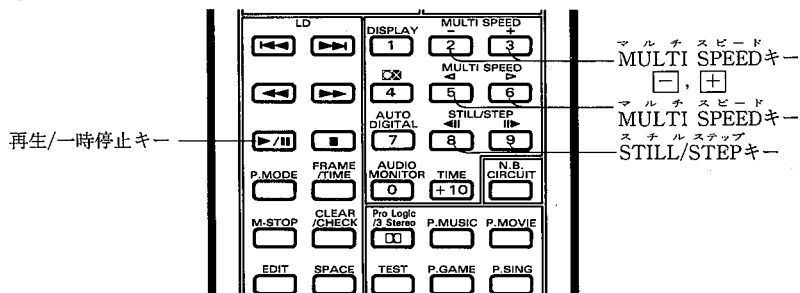
デジタル音声付ディスクのマーク

マルチオーディオディスクのマーク

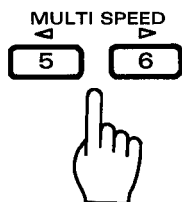
●キーを押すごとにデジタル音声↔アナログ音声が切り換わります。

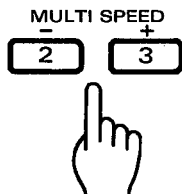
●AUDIO MONITORキーとAUTO DIGITALキーを組み合わせることで，MULTI AUDIOディスクを楽しむことができます。

特殊画像再生のしかた（LD-CAV）

CLV（長時間ディスク）は特殊画像再生はできません。

■再生の速さをかえる

リモコンのみ(B面)

1 MULTI SPEEDキー（◁, ▷）を押す

- ▷ キーを押すと画面は前進します。
- ◁ キーを押すと画面は後進します。

2 +, − キーで速さを指定する

- 押すごとに次の8種類の速さが指定できます。

×3	標準の3倍の速さ	+ 3
×2	標準の2倍の速さ	↑
×1	標準の速さ	
×1/2	標準の1/2の速さ	
×1/4	標準の1/4の速さ	初期設定
×1/8	標準の1/8の速さ	
×1/16	標準の1/16の速さ	↓
×1/30	標準の1/30の速さ	− 2

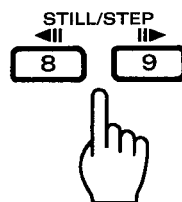
- MULTI SPEEDモードにしたときは，音声は出ません。

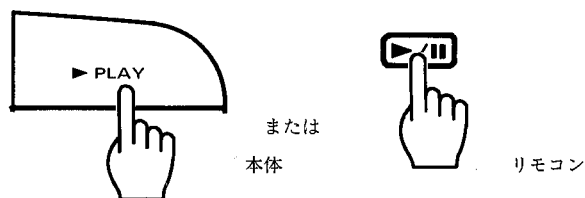
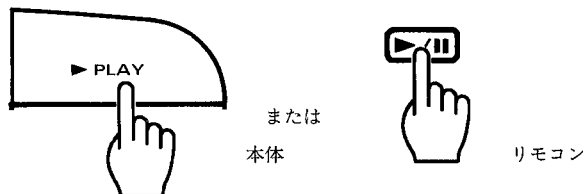
通常の再生に戻すには

■画像を1コマずつ止めて見る

リモコンのみ(B面)

静止画・コマ送り・コマ戻しができます

STILL/STEPキーを押す

- 1回目を押すと静止画になります。
- ▮▮► を押すごとに1コマずつ進みます。
- ◄▮▮ を押すごとに1コマずつ戻ります。
- 静止画やコマ送り/コマ戻しの状態では，音声は出ません。

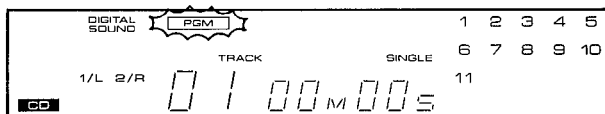
通常の再生に戻すには

ご注意：
静止画やコマ送り/コマ戻しの状態では，画像が乱れることがあります。これは本機の故障やディスクの不良ではありません。

オートマチックピクチャーストップについて

ピクチャーストップコードという特別の信号を記録したディスクを再生しているとき，そのフレーム（画像）になると，自動的に静止画再生となります。画面の表示に従って，STILL/STEP キーなどでお楽しみください。

プログラム再生のしかた（CD, CDV, LD）

■好きなチャプター(トラック)を好きな順序で再生する(プログラムモード)

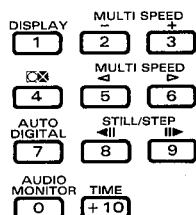
リモコンのみ(A面)

1 プログラムモードにする

●A－Bリピート中は，プログラムモードにはなりません。
●再生中に押すと，再生中の曲が1曲目にプログラムされます。

2 チャプター（トラック）ナンバーを選ぶ

例：チャプターナンバー2，5，15を選ぶとき

数字キーで [2] [5] [+10] [5] の順に押す

テレビ画面表示例

15 PROG.03

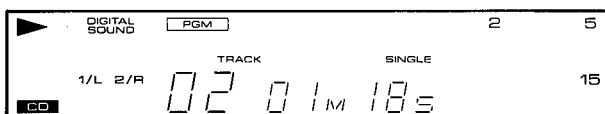
2 5 15 － －

－ － － － －

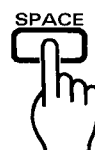
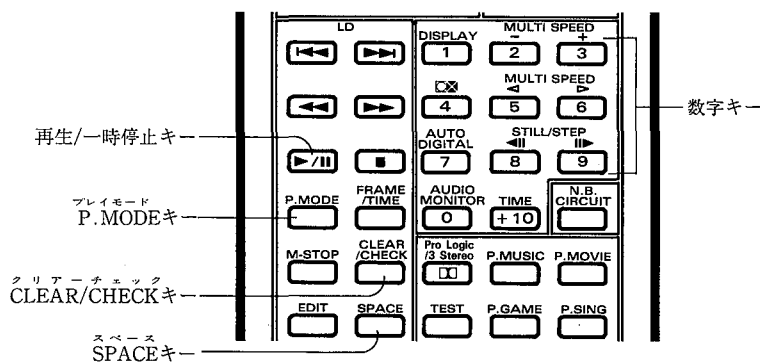
－ － － － －

－ － － － －

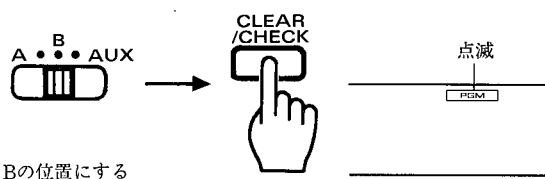
●20曲まで選べます。
●間違えたときは，[CLEAR]キーを押して，指定し直します。

3 再生する

●選んだ順（P-番号）に再生します。
●次または前のプログラムを再生するときは，[▶▶|]，[|◀◀]キーを押します。

曲間のスペースをつくる　リモコンのみ

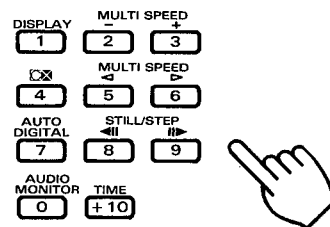
プログラムモードのとき，[SPACE]キーを押すと，曲と曲の間に約4秒間の音のない部分が作られます。これはカセットテープのDPSSのためのものですが，クラッシック音楽やライブ音楽など曲と曲がつながっているものでも無録音部分をつくることがあります。

●総所要時間表示は，スペース時間を加えた表示になります。
●解除するときは，再度[SPACE]キーを押します。

■プログラムを確認する

リモコンのみ

CHECKキーを押す

●押すごとに選んだ順番（P一番号）とチャプター（トラック）ナンバーを表示します。

■プログラムを追加する

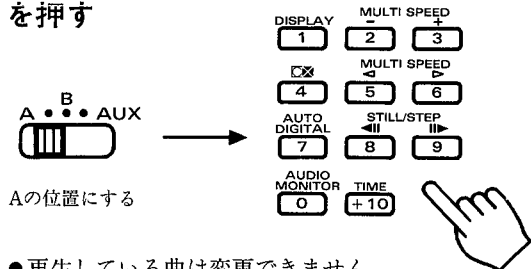
リモコンのみ(A面)

追加したいチャプター（トラック）ナンバーを押す

■プログラムを変更する

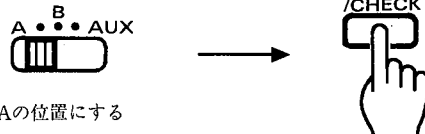
リモコンのみ

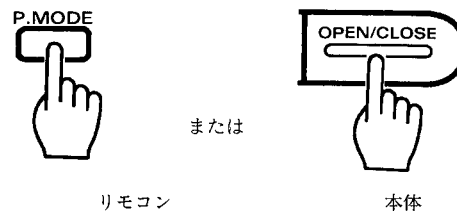
1 CHECKキーを押す

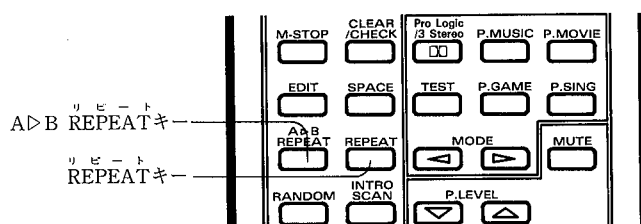
●変更したいプログラム番号になるまで繰り返し押します。

2 変更するチャプター（トラック）ナンバーを押す

●再生している曲は変更できません。

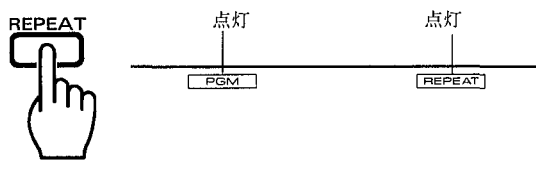
■プログラムを取り消す

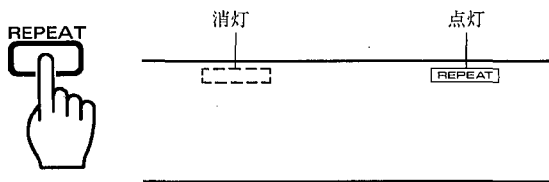
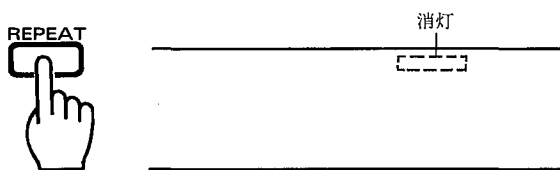
後ろから順に消していく　リモコン

●再生している曲は取り消しできません。
●１回押すごとに後ろから順に消えていきます。

全部消す

ご注意：
1.チャプターナンバーのないディスクは，プログラムできません。
2.TOCのないディスクで，ディスクに存在しないチャプター（トラック）ナンバーをプログラムして再生すると，ディスクにないことを確認したあと次のプログラム曲を再生します。

リピートプレイのしかた

■繰り返し再生する（リピートプレイ） リモコンのみ(A面)

選んだ曲の繰り返し

プログラムモードのとき，REPEATキーを押す

ディスクの片面の繰り返し

PGM 表示が消えていることを確認してREPEATキーを押す

普通の再生に戻るには

もう一度キーを押す

■好きな部分だけ繰り返して再生する リモコンのみ(A面)

1 PGM 表示が消えていることを確認する

2 繰り返して再生したい区間の最初のところでA▷B REPEATキーを押す

テレビ画面表示例

08 34:07 TOTAL
REPEAT A-

3 繰り返して再生したい区間の終わりのところで再度A▷B REPEATキーを押す

テレビ画面表示例

08 34:09 TOTAL
REPEAT A-B

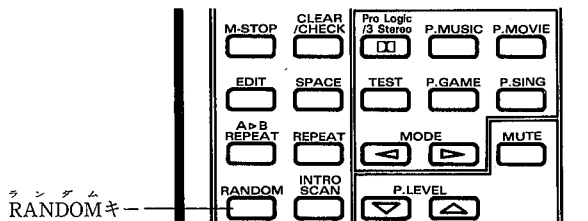
●指定した区間が繰り返し再生されます。
●区間リピートを解除するには，もう一度 A▷B REPEAT キーを押します。

タイムナンバー(分)表示

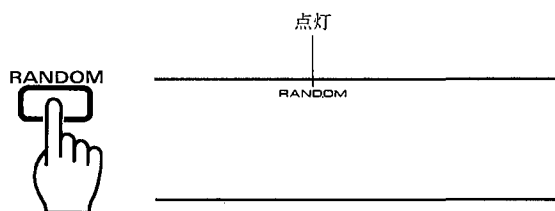
Ⓐ－－－Ⓑは指定した区間
◀───▶は実際の繰り返し区間

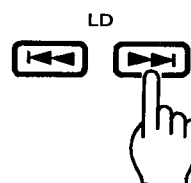
ご注意：
1.A▷Bリピート再生中は，通常のリピート再生はできません。また，通常のリピート再生中はA▷Bリピート再生はできません。
2.タイムナンバーが「分」単位のディスクでは，指定区間が多少ズレて再生されます。

ランダムプレイのしかた

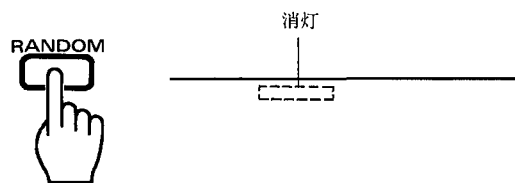
ランダムプレイとは，毎回再生する曲がランダム（無作為）に選択され，順不同で再生をする機能です。REPEAT機能を併用することで長時間飽きることのない演奏が楽しめます。(TOCのあるLDとCDV，CD)

■ランダムプレイをする リモコンのみ(A面)

1 PGM 表示が消えていることを確認する

2 RANDOMキーを押す

- 最大20曲がランダムに選択されて再生が始まります。
- 再生する曲が選択されると，その曲のトラック番号が点灯し，再生が始まります。
- 1曲の再生が終了すると，再び別の曲がランダムに選択され，再生が始まります。
- 全20曲の再生が終了すると停止します。
- REPEAT キーを押すと，ランダムプレイは停止せず，何回でも行えます。

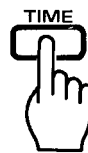
ランダムプレイ中に別の曲を選択するには

- ⏮ キーを1回押すと，再生している曲の初めに戻ります。

普通の再生に戻るには

もう一度キーを押す

- 再生中の曲から通常の再生に戻ります。

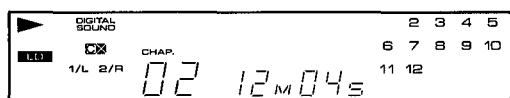
時間表示切換のしかた

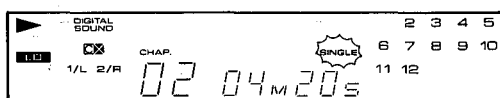
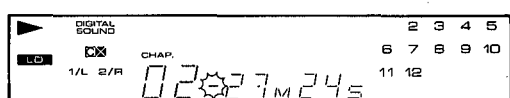
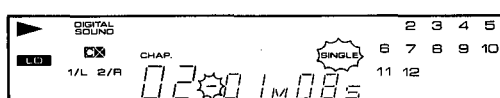
時間表示切換について リモコンのみ(B面)

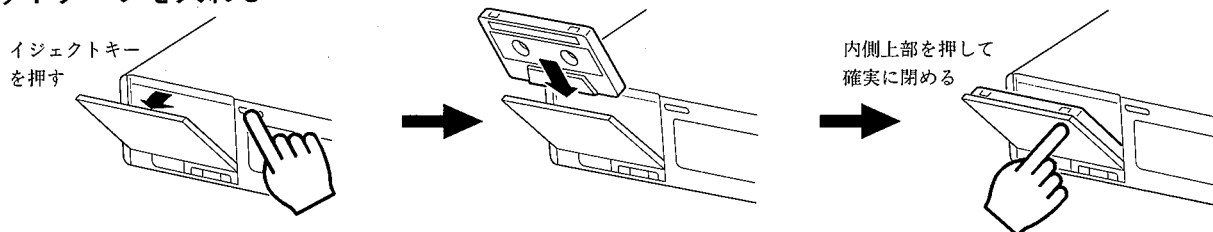
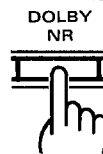
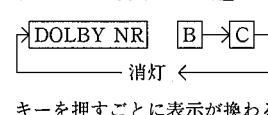
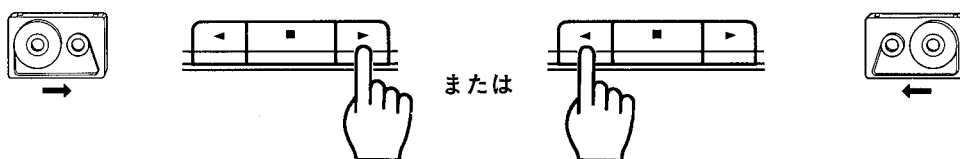
TIMEキーを押すごとに，時間表示の内容が下記の順で切り換わります。

ディスクの種類		TOCの有無	モード	表示内容
LD	CLV	TOC有	※マニュアルモード	①そのディスク全体の経過時間 → ②そのディスク全体の残り時間 → ③そのチャプターの経過時間 → ④そのチャプターの残り時間 → ①
			プログラムモード	①※絶対時間 → ②そのチャプターの経過時間 → ③そのチャプターの残り時間 → ①
		TOC無	※マニュアルモード	そのディスク全体の経過時間
			プログラムモード	※絶対時間
	CAV	TOC有	※マニュアルモード	①フレームナンバー → ②そのチャプターの経過時間 → ③そのチャプターの残り時間 → ④そのディスク全体の経過時間 → ⑤そのディスク全体の残り時間 → ①
			プログラムモード	①フレームナンバー → ②そのチャプターの経過時間 → ③そのチャプターの残り時間 → ④※絶対時間 → ①
		TOC無	※マニュアルモード	①フレームナンバー ↔ ②そのディスク全体の経過時間
			プログラムモード	①フレームナンバー ↔ ②※絶対時間
CD, (CDV)			※マニュアルモード	①そのトラッの経過時間 → ②そのトラックの残り時間 → ③そのディスク全体の経過時間（映像(音声)部分全体の経過時間） → ④そのディスク全体の残り時間（映像(音声)部分全体の残り時間） → ①
			プログラムモード	①そのプログラム全体の残り時間 → ②そのトラックの経過時間 → ③そのトラックの残り時間 → ④そのプログラム全体の経過時間 → ①

※絶対時間：ディスクに記録されている時間で，そのディスクの初めからの経過時間をいいます。
※マニュアルモード：プログラムモード以外の状態をいいます。

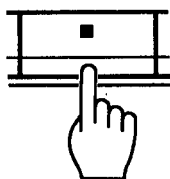
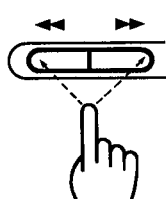
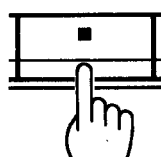
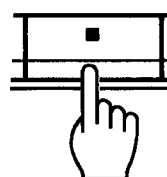
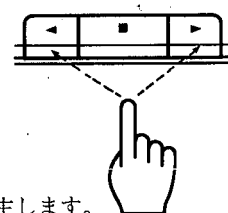
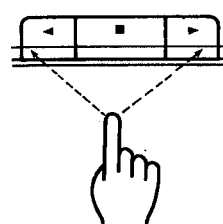
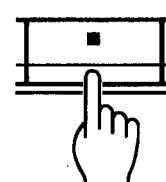
表示例： CLV，TOC有の場合

①そのディスク全体の経過時間

②そのディスク全体の残り時間

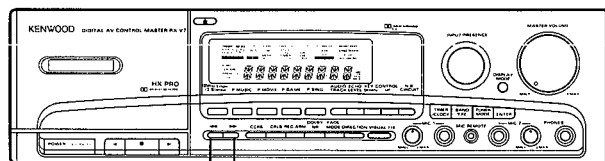
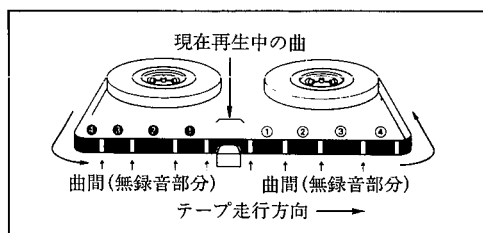
③そのトラック（チャプター）の経過時間

④そのトラック（チャプター）の残り時間

カセットテープのききかた

■テープの再生

再生を止めるときは，■ キーを押してください。

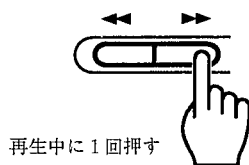
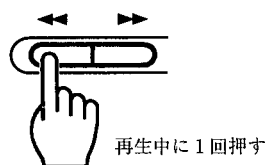
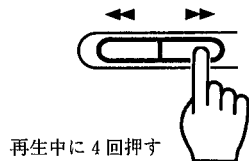
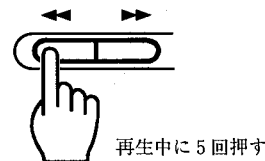
●テープが完全に停止するまで，イジェクトキーを押さないでください。

■早送りのしかた

■曲の初めだけをきく

DPSSの使いかた

DPSS(Direct Program Search System)機能により，操作キーで指示を与えると，以下のような便利な使いかたができます。DPSSは曲と曲の間の４秒以上の無録音部分を検出して機能します。

1.飛越選曲　　　　：再生中に数曲先の曲（または前の曲）を選ぶと，途中の曲を飛び越して，選んだ曲の最初から再生します。最大16曲まで飛越選曲することができます。
2.１曲リピート再生：同じ曲を16回繰り返し再生します。
3.巻戻し再生　　　：テープを巻き戻し，テープの初めから再生します。
4.ダッシュ＆プレイ：テープの途中に10秒以上の無録音部分があると，その間を早送りしながら，繰り返し再生します。

■飛越選曲

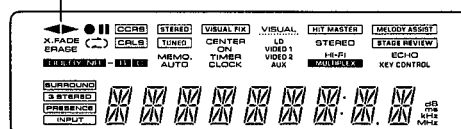
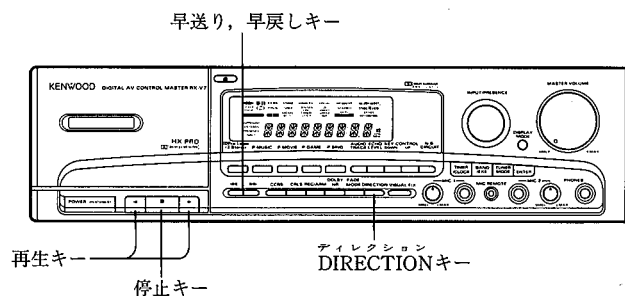
下の図は走行方向表示が▶のときの例です。
走行方向表示の向きが◀のときは，いずれの場合も図とは反対方向のキーを押します。

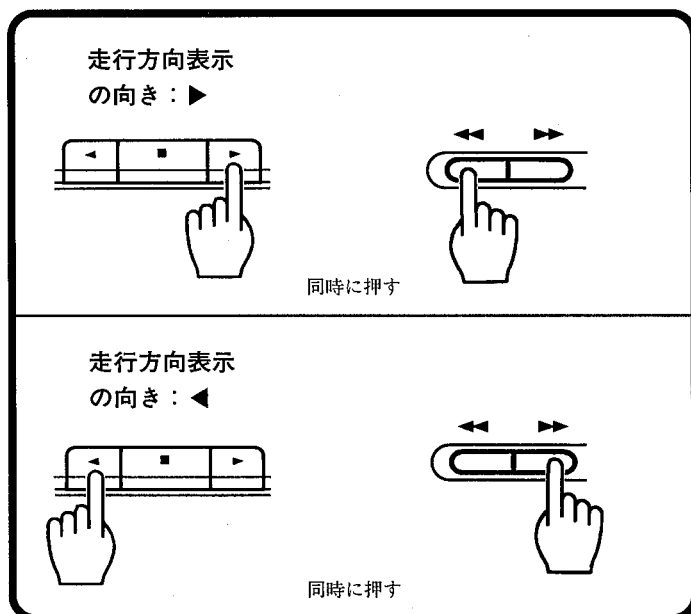
１曲先の曲をきくとき

再生中の曲を初めからきくとき

４曲先の曲をきくとき

４曲前に戻してきくとき

次のようなテープでは，DPSSは正常に動作しません

- 会話，落語などで，音声が４秒ぐらい途切れるテープ。
- クラシック音楽など，曲のなかで極端にレベルの低い部分や，無録音部分があるテープ。
- 曲間に大きな雑音などが録音されているテープ。
- 曲間が４秒未満のテープ。
- 低いレベルで録音されたテープ。
- X.FADE録音されたテープ。

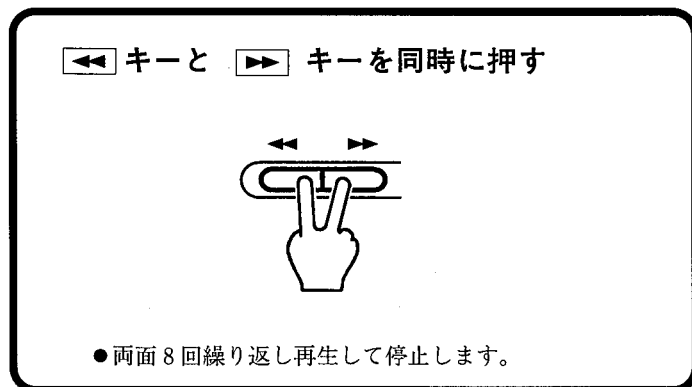
走行方向インジケーター

再生，または録音するテープが進む方向を◀▶インジケーターで示します。
最後にテープを止めたときの方向が，電源を切ってもそのまま保持され，次の電源ONのときにも同じ方向になっています。
インジケーターの方向を変えるには，テープを入れたあと，反対向きの再生キーを押します。

走行方向インジケーター

■巻戻し再生するには

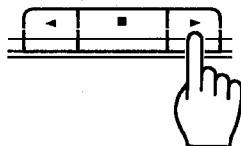
リモコンではできません。

■ダッシュ＆プレイのしかた

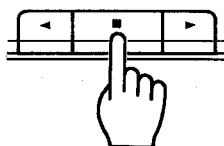
無録音部分を自動的に早送りして再生します。
リモコンではできません。

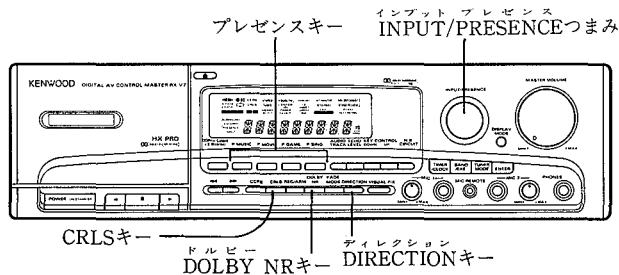
●両面8回繰り返し再生して停止します。

■ 1曲リピート再生するには

1 繰り返したい曲を再生する

2 同じ方向の再生キーを押す

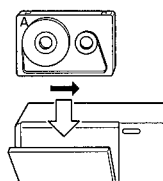
走行方向表示
の向きが▶のとき

●同じ曲を16回繰り返したあと，通常の再生に戻ります。

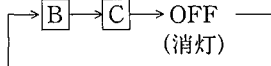
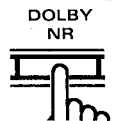
途中で解除するには

録音のしかた

本機はDOLBY HX Pro headroom extension機能により，高域特性の優れた録音ができます。

■普通の録音

1 カセットデッキの準備をする

①デッキにテープを入れる

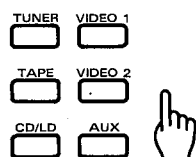
②走行方向を合わせる

③録音する面を選ぶ

④DOLBY NRを選ぶ

2 録音する音楽ソースを選ぶ

本体

①DISPLAY MODEキーを押して入力表示にする

② INPUT/PRESENCE つまみを回す

リモコン

●ディスプレイで，入力ソースを確認します。

3 録音レベルを合わせる

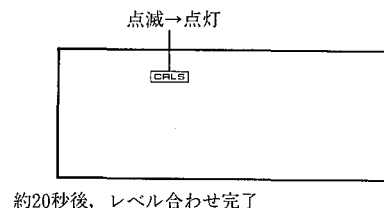
①音楽ソースを再生する

●音が大きいと思われるところを再生します。

②プレゼンスモードを選ぶ（P.48参照）

●プレゼンス録音をしないときは手順③に進みます。

③CRLSキーを押す

約20秒後，レベル合わせ完了

●録音待機状態になります。

●レベル合わせ完了後，再度 CRLS キーを押すと，そのときからあらためて20秒間サーチします。

●点滅中にREC/ARMキーを押すと，録音された音がひずむことがあります。

●点滅中に CRLS キーを押すと，その時点でレベル合わせを中断し，録音待機状態になります。

● CRLS キーを押して約5秒以内にソースの音が入ってこないときや，音楽ソースレベルが低いとき録音レベルの設定は中断します。この場合は“録音のしかた”に進んでください。

それぞれの入力ソースに従い，“録音のしかた”に進んでください（33ページ参照）

ドルビーノイズリダクション（NR）システムについて

ドルビーNRシステムは，テープ再生の際に発生する“サー”というテープヒスノイズを，聴感上，極力小さくするためのシステムです。

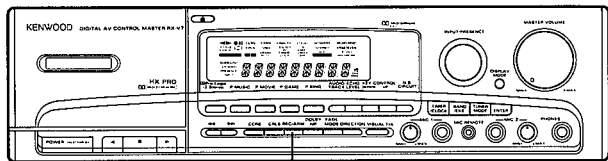
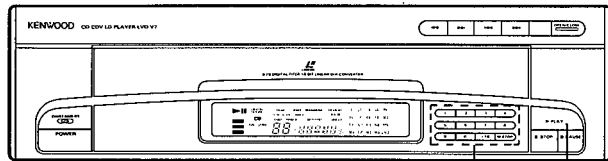
ドルビーNRシステムは，録音時と再生時とが同じ方式を使用することで初めて効果が得られます。異なった方式で再生すると正しい音質での再生音が得られません。必ず録音時と再生時のドルビーNR方式を合わせてください。

ドルビーB NR

一般普及型のドルビーNR方式として，一般家庭用機器でドルビーNRシステムといえばドルビーB NRを指します。

ドルビーC NR

ドルビーB NRに比べ，さらに優れたノイズ低減効果が得られます。本機だけで録音再生するときはドルビーC NRの利用をおすすめします。

ドルビーNRシステムで録音したテープには“B”“C”の区別を明記しておきましょう。

■録音のしかた

ソースがTUNERのとき

1 放送を受信する

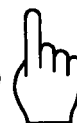
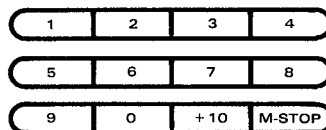
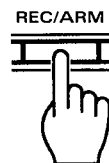
●17ページをごらんください。

2 録音を始める

1回押す

ソースがCD/LDのとき

1 CD/LDを再生する

録音を始めたい曲番の数字キーまたはPLAYキー▶を押す

2 録音を始める

1回押す

●CD/LDプレーヤーの再生が終わると，デッキは録音を終了し停止します。

一時停止………CD/LDプレーヤーのPAUSEキー⏸
（リモコン ▶/⏸ キー）を押す
録音再開始……CD/LDプレーヤーのPLAYキー▶
（リモコン ▶/⏸ キー）を押す
停止……………CD/LDプレーヤーのSTOPキー ■ を押す

●カセットデッキの停止キーを押すと，カセットデッキは止まりますが，CD/LDプレーヤーは止まりません。

CRLSについて（Computer controlled Recording Level System）

音楽ソースのレベルを約20秒間サンプリングし，自動的に適切な録音レベルを決める機能です。

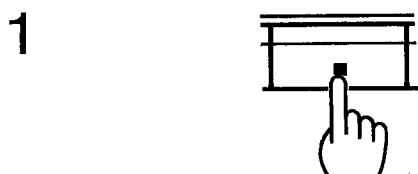
● CRLS キーを押し忘れても ……………………… 基本レベルで録音できます。
各入力共通の基本録音レベルが出荷時に決めてあります。

●一度決めた録音レベルは記憶している ……………… 入力ごとにCRLSで決めた録音レベルが記憶され，2度目からは CRLS キーを押さなくても同じレベルで録音できます。

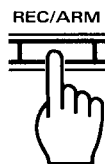
● CRLS キーを押してしまったけれど
前のレベルに戻したいとき ……………………… CRLS インジケーターが点滅している間に停止キーを押します。
前の状態に戻ります。

● CRLS キーを3秒以上押し続けると ……………… インジケーターが遅い点滅をしたあと消えます。このとき選ばれていた入力の基本録音レベルに戻ります。

■録音を止める

1

2 音楽ソースを止める

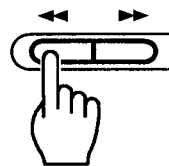
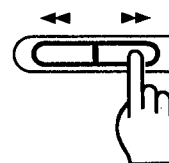
■曲間に無録音部分をつくる

約4秒間の無録音部分をつくります。
DPSSを行うときなどに便利です。

● 4秒間の無録音部分をつくって，録音一時停止状態になります。

■録音をとり直しする

録音開始位置の前に4秒間の無録音部分が必要です。

1 録音を中止し，巻き戻す

▶方向録音中は

◀方向録音中は

●録音は中止され，録音を始めた位置まで戻り，前の曲から約2秒間の無録音部分を送った後，停止します。

2 録音を開始する

①録音キーを2回押す

● 4秒間の無録音部分を作って止まります。

②録音キーを1回押す

●録音が始まります。

ドルビーHX Proについて

本機で録音すると自動的にDolby HX Pro headroom extensionが働き，高域特性の優れた録音ができます。

一般の高周波バイアス方式における録音では，録音しているソースによって音楽などに含まれている高周波成分により，一定であるべき高周波バイアス電流が増加し，録音特性（特に高域でのひずみ，ダイナミックレンジ，周波数特性）を劣化させます。
DOLBY HX Proは，録音している音楽ソースに含まれる高周波成分を検出し，その分だけバイアス電流を抑え，バイアス電流が一定になるようにコントロールします。この結果，高域の録音特性が大幅に改善され，本機以外の一般再生デッキにおいても，すぐれた高音域再生を楽しむことができます。

CDの録音のしかた（CCRS）

録音するディスクの最適録音レベルを自動的に設定し，録音を開始するCCRS機能と組み合わせ，次のような便利な録音ができます。CCRSのできるディスクは，CD，CDVのみです。

ノーマル編集録音（NORMAL EDIT）	録音時間を指定すると，テープエンドの曲がとぎれないように自動的に編集します。最大20曲まで編集録音をします。（PRIORITY EDIT（プライオリティ エディット）：CDの好きな曲をあらかじめプログラムしておくと優先して編集されます）
フェードアウト編集録音（FADE EDIT）	CDの１曲目から順に録音し，曲の途中でテープの折返し部になったとき，フェードアウトで折返して録音します。
クロスフェード編集録音（X.FADE EDIT）	曲の終わりと初めをフェードアウト/フェードインし，曲の切れ目のない音楽テープが作れます。
消去編集録音（ERASE EDIT）	曲の途中でテープの折返し部になったとき，中途半端になった曲を消去し，その曲から改めて裏面に録音します。

"CD，CDV，LDの再生"の項目をあわせてご覧ください。

CCRS（Computer Controlled CD Recording System）とは

CCRSキーを押すだけで，次のことを自動的に行い，CD録音を始める機能です。

1. CD/LDプレーヤーが再生を開始し，ディスクの収録レベルから，ピーク値をサンプリングします。
2. サンプリングしたピーク値から，そのディスクの最適録音レベルを決め，設定します。
3. 約120秒で以上の録音準備を終え，録音を始めます。
4. 録音が終了（CD/LDプレーヤーが停止したとき，またはテープが終わったとき）すると，カセットデッキとCD/LDプレーヤーは停止します。

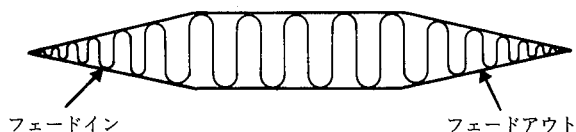
- CCRSインジケーターの点灯中は，設定した録音レベルが維持されています。
- CCRS録音レベルは，CD/LDプレーヤーのOPEN/CLOSEキーを押したときまたは電源を切ったときは両方共に解除されます。

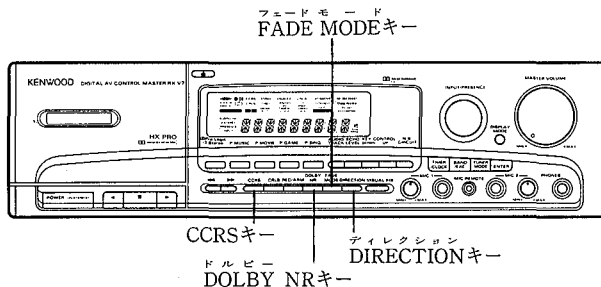
CCRS作動中の表示

	カセットデッキの表示	CD/LDプレーヤーの表示
録音レベル設定中	►●II CCRS（点滅）	CCRS（点滅）
録音中	►● CCRS（点滅）	08 02 10
録音停止	► CCRS	01 00 00

CCRSの解除：CD/LDプレーヤーのOPEN/CLOSEキーを押す。

フェードイン/フェードアウトとは

音楽を再生するときに，小音量から始めて通常の音量までだんだん大きくしていくことをフェードインといい，逆に通常の音量からだんだん小さくしていって終わることをフェードアウトといいます。

■ノーマル編集録音（NORMAL EDIT）

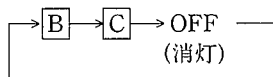
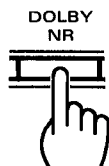
録音時間を指定すると，テープエンドの曲がとぎれないように自動的に編集します。

1 デッキの録音準備をする

①カセットを入れる

②走行方向を確認する

③録音する面を選ぶ

⊐：両面録音を選ぶ

④DOLBY NRを選ぶ

→B→C→OFF（消灯）

2 入力切換をCD/LDにする

●プレゼンス録音するときは，プレゼンスモードを選びます。また，しないときはプレゼンスを解除（プレゼンスインジケーターが消灯）してください。(P.48参照)

3 CD/LDプレーヤーにディスクを入れる

●プログラム選曲をするときは手順4の前にすませておきます。

4 CDのモードをEDITにする

リモコンのみ

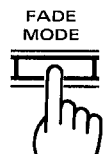
●EDITを選んだあと，8秒以内に次の手順の入力をしてください。8秒過ぎたときはもう一度押してください。
●再生モードは自動的に PGM になります。
●SPACEキーを使用するときは，EDITキーを押してからテープの時間を入力するまでの間に押してください。

5 テープの時間を入力する

数字キーで入力する
C-60のとき：+10 を6回，0 を1回
C-46のとき：+10 を4回，6 を1回

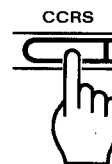
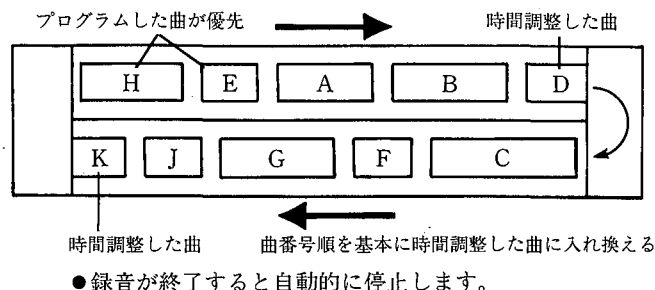
●A面B面の自動編集が行われ，編集が終了すると EDIT が点滅から点灯になります。
●あらかじめ数曲をプログラムしていると優先して録音ができます。(LDの場合は優先されません)
●LDの場合CCRSはできません。32ページの“普通の録音”をしてください。

6 カセットデッキのモードを選ぶ

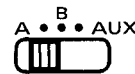
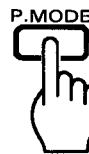
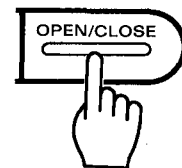
→ FADE → X.FADE → ERASE

FADE MODEキーを押すごとに表示が換わります

● X.FADE を選ぶとクロスフェード編集録音をします。
●入力した時間がテープの時間より長いと，テープエンドの曲は，FADE を選んでいると，フェードアウトされ，ERASE を選んでいると，消去されます。

7 CCRSキーを押す

下図のように録音します。

●録音が終了すると自動的に停止します。

ご注意：
1. トラック番号が36以上の曲が，1曲でもプログラムされていると，そのプログラム曲から最後のプログラム曲まで削除されます。
2. REPEAT機能は働きません。

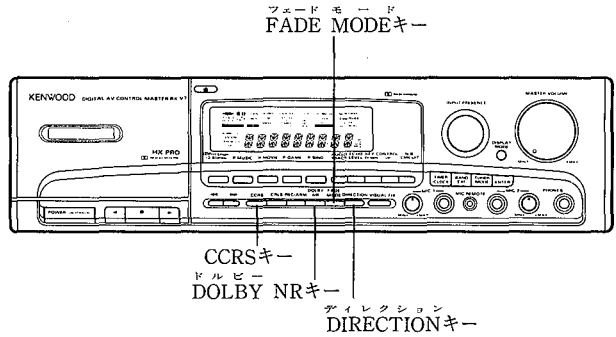
■編集した内容を確認するには

■編集した内容を取り消すには

編集は次のようにおこなわれます。(例46分を入力したとき)

①設定時間が二分割（例では23分）され，一方のAファイル（テープA面用）に収まるような曲のトラックナンバーが自動的に選択されます。
②数秒後，Aファイルの残り時間がディスプレイに表示され，続いてBファイル（テープB面用）も同様に編集されます。

EDIT手順	TV画面表示例	ディスプレイ表示例（CDのとき）
編集開始 A編集	EDIT-A	A FILE
A編集終了	EDIT-A REMAIN=01：03	A-01M03S
B編集	EDIT-B	b FILE
B編集終了	EDIT-B REMAIN=01：45	b-01M45S
EDIT終了	01-43：12 TOTAL STOP CD	01-43M12S

■フェードアウト編集録音 (FADE OUT EDIT)

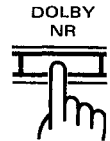
テープの折り返し部で，フェードアウト/フェードインします。

1 デッキの録音準備をする

①カセットを入れる

②走行方向を確認する

③録音する面を選ぶ

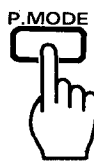
⊃：両面録音を選ぶ
⇌：片面録音を選ぶ

④DOLBY NRを選ぶ

→B→C→OFF（消灯）

2 入力切換をCD/LDにする

●プレゼンス録音するときは，プレゼンスモードを選びます。また，しないときはプレゼンスを解除（プレゼンスインジケーターが消灯）してください。（P.48参照）

3 CD/LDプレーヤーにディスクを入れる

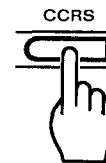
4 CDの再生モードを選ぶ

リモコンのみ

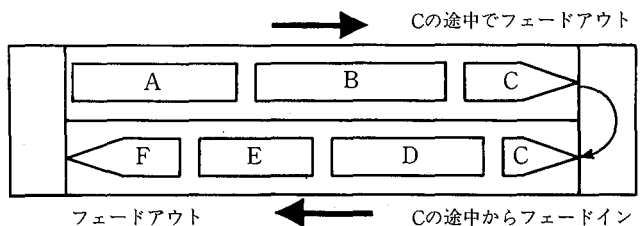
マニュアルモードのとき：曲番順に録音します。
プログラムモードのとき：プログラムした順番に録音します。

5 FADEモードを選ぶ

FADE MODEキーを押す

→FADE→ X.FADE → ERASE →

FADE MODEキーを押すごとに表示が換わります

6 CCRSキーを押す

下図のように録音します

ご注意：
1.CD/LDプレーヤーの再生中に CCRS キーを押すと，再生を中止し，CCRS設定に入ります。
2.CCRS録音では録音レベルを合わせる必要はありません。
3.CCRSはディスクのピークレベルを約120秒で探すため，ごくまれに最適レベルの調節ができないことがあります。
4.クラシックなど，1曲が長いものは，テープの片面に録音しきれないためCCRSが使えません。この場合は，"普通の録音"（32，33ページ）を参照し，録音してください。
5.カセットデッキの走行モード表示が ⇌ になっていると，それぞれのテープエンドの処理は表面のみになります。
6.テープの残りが少ないと，テープエンドで消去編集録音（37ページ）になることがあります。
7.テープエンドにかかった曲がフェードアウトされるとき，前の曲との間が短いと前の曲の最後も一部消去されることがあります。このときは，CD/LDプレーヤーの再生モードを PGM にし，SPACE キーを押してから録音してください。

■クロスフェード編集録音 (X.FADE EDIT)

曲と曲とをフェードアウトとフェードインで重ねてつなぎ，曲の切れ目のない編集録音をします。

1 デッキの録音準備をする

①カセットを入れる

②走行方向を確認する

③録音する面を選ぶ

DIRECTION

⊐：両面録音のとき
⇌：片面録音のとき

④DOLBY NRを選ぶ

DOLBY NR

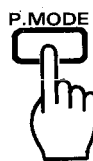
→B→C→OFF (消灯)

2 入力切換をCD/LDにする

●プレゼンス録音するときは，プレゼンスモードを選びます。また，しないときはプレゼンスを解除（プレゼンスインジケーターが消灯）してください。(P.48参照)

3 CD/LDプレーヤーにディスクを入れる

4 CDの再生モードを選ぶ

P.MODE

リモコンのみ

マニュアルモードのとき：曲番順に録音します。
プログラムモードのとき：プログラムした順番に録音します。

5 X.FADEを選ぶ

FADE MODEキーを押す

FADE MODE

→FADE→X.FADE→ERASE

FADE MODE切換キーを押すごとに表示が換わります

6 CCRSキーを押す

CCRS

下図のように録音します

Cの途中で録音中断

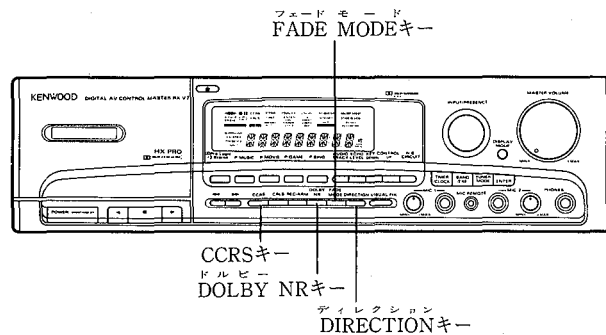
A B C

F D C

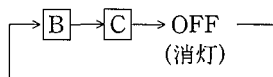
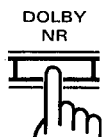
Eの途中で停止　Cの初めから録音

●テープエンドは，フェードアウトしません。

ご注意：
1.CD/LDプレーヤーの再生中にCCRSキーを押すと，再生を中止し，CCRS設定に入ります。
2.CCRS録音では録音レベルを合わせる必要はありません。
3.CCRSはディスクのピークレベルを約120秒で探すため，ごくまれに最適レベルの調節ができないことがあります。
4.クラシックなど，1曲が長いものは，テープの片面に録音しきれないためCCRSが使えません。この場合は，“普通の録音”（32，33ページ）を参照し，録音してください。
5.もともとフェードアウト/フェードインされた曲をクロスフェード録音すると曲間が空いてしまうことがあります。
6.曲によってはクロスフェードされた部分はきき苦しいことがあります。この場合は，他の編集録音を使って録音してください。

CDの録音のしかた

■消去編集録音（ERASE EDIT）

テープの折り返し部で，中途で終わった曲を消去し，裏面に初めから録音をし直します。

1 デッキの録音準備をする

①カセットを入れる

②走行方向を確認する

③録音する面を選ぶ

DIRECTION

⊃：両面録音のとき
⇄：片面録音のとき

④DOLBY NRを選ぶ

DOLBY NR

→B→C→OFF（消灯）

2 入力切換をCD/LDにする

●プレゼンス録音するときは，プレゼンスモードを選びます。また，しないときはプレゼンスを解除（プレゼンスインジケーターが消灯）してください。（P.48参照）

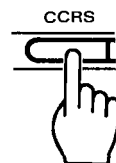
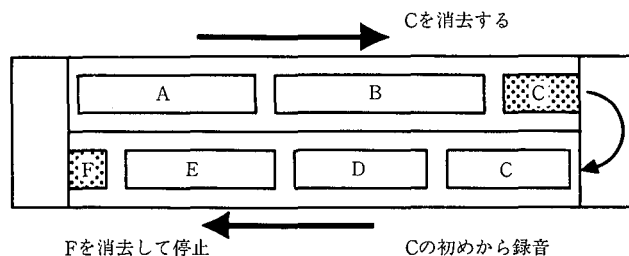
3 CD/LDプレーヤーにディスクを入れる

4 CDの再生モードを選ぶ

P.MODE

マニュアルモードのとき：曲番順に録音します。
プログラムモードのとき：プログラムした順番に録音します。

5 ERASEモードを選ぶ

FADE MODEキーを押す

FADE MODE

→FADE→X.FADE→ERASE

FADE MODE 切換キーを押すごとに表示が換わります

6 CCRSキーを押す

CCRS

下図のように録音します

Cを消去する

A　B　C
F　E　D　C

Fを消去して停止　Cの初めから録音

ご注意：
1.CD/LDプレーヤーの再生中に CCRS キーを押すと，再生を中止し，CCRS設定に入ります。
2.CCRS録音では録音レベルを合わせる必要はありません。
3.CCRSはディスクのピークレベルを約120秒で探すため，ごくまれに最適レベルの調節ができないことがあります。
4.クラシックなど，1曲が長いものは，テープの片面に録音しきれないためCCRSが使えません。この場合は，“普通の録音”（32，33ページ）を参照し，録音してください。
5.カセットデッキの走行モード表示が ⇄ になっていると，テープエンドの処理は表面のみになります。
6.テープエンドにかかった曲が消去されるとき，前の曲との間が短いと，前の曲の最後も一部消去されることがあります。このときは，CD/LDプレーヤーの再生モードを PGM にし，SPACE キーを押してから録音してください。

ビデオソースの再生，録音/録画

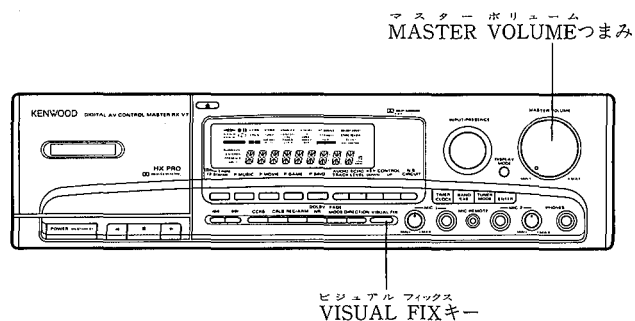
■ビデオソースを再生する

1 MONITOR OUT端子に接続されたテレビの電源をONにする

2 見たい（ききたい）ビデオソースを選ぶ

3 ビデオ機器を再生する

●モニターテレビに映像が再生され音声は本システムのスピーカーからでます。

4 音量を調節する

■ビデオデッキに録音/録画する

1 録音/録画したいソースを選ぶ

● VISUAL FIX インジケーターが消灯を確認します。

2 ビデオデッキを録音/録画状態にする

●プレゼンス録音するときは，プレゼンスモードを選びます。また，しないときはプレゼンスを解除（プレゼンスインジケーターが消灯）してください。(P.48参照)
●選んだソースをモニターしながら録音/録画することができます。

■VIDEO1(2)からVIDEO2(1)にダビングをする

1 入力切換をVIDEO1(2)にする

● VISUAL FIX インジケーターが消灯を確認します。

2 VIDEO2(1)に接続されたビデオデッキを録音/録画状態にする

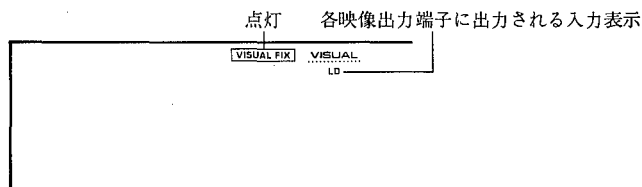
●プレゼンス録音するときは，プレゼンスモードを選びます。また，しないときはプレゼンスを解除（プレゼンスインジケーターが消灯）してください。(P.48参照)

ご注意：ビデオデッキに録音/録画中はプレゼンスモードを切り換えないでください。

VISUAL FIXについて

点灯　各映像出力端子に出力される入力表示

VISUAL FIX　VISUAL LD

解除するにはもう一度押す

VISUAL FIX キーを押すと，VISUAL FIX インジケーターが点灯し，映像出力端子（MONITOR OUT端子，VIDEO REC端子）に出力される映像入力が固定され，入力ソースを切り換えても音声信号は切り換わりますが，映像信号は切り換わりません。表示管の"VISUAL"に表示されている入力の映像と別な入力ソースの音声をきくときに，便利です。使用しないときは必ずOFF（消灯）にしてください。

ビデオソースの再生・録音／録画

プレゼンス（臨場感）について

プレゼンスについて

本機ではいろいろな目的に対応して各種のタイプのプレゼンスモードを用意しました。又各プレゼンスモードに専用DSP（デジタル信号処理）を採用することにより，音のクオリティーを損なうことなく各種の音場空間を創りだすことが可能になりました。取扱説明書をよくお読みになって，目的にあった音場空間でお楽しみください。

●入力切換がチューナーのとき，プレゼンスは働きません。

①ドルビーサラウンドプロ・ロジック

DOLBY SURROUNDのマークの入ったビデオソフト/LDソフトには，ドルビーステレオ映画と同じドルビーサラウンド情報が録音されています。本機にはドルビーサラウンドプロ・ロジック・デコーダーを搭載していますので，ご家庭で映画館と同じような音響効果をお楽しみいただけます。

●スピーカーの設置状況により，センターモードを設定してください。(43ページ参照)

②ドルビー3ステレオ

左右のスピーカーが離れている場合，センターの音像の定位が悪くなります。方向性強調をかけてセンターの音像の定位を良くしたのが，ドルビー3ステレオです。(43ページ参照)

③DSPプレゼンス

本機では各種ソースにデジタル信号処理を行ない，それぞれの目的に合った音場パターンが用意されており，お好みの音場効果をお楽しみください。

①音楽再生用（P.MUSIC）……ARENA（アリーナ），JAZZ CLUB（ジャズクラブ），STADIUM（スタジアム），DISCO（ディスコ），CHURCH（チャーチ）
②映画再生用（P.MOVIE）……REGULAR（レギュラー），WIDE（ワイド），SOFT（ソフト），CLEAR（クリアー），MONO/TV（モノ/テレビ）
③ゲーム用（P.GAME）……SPACE（スペース），WARS（ウォーズ），RACING（レーシング），SPORTS（スポーツ），ROLEPLAY（ロールプレイ）
④カラオケ再生用（P.SING）……BUDOKAN（ブドウカン），BIRDLAND（バードランド），DOME（ドーム），OPERA（オペラ），KARAOKE（カラオケ）

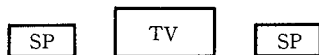
各々のプレゼンス効果については46ページを参照。

センタースピーカー内蔵型フロントスピーカー

本機のスピーカーにはフロントスピーカー以外にセンタースピーカーを内蔵していますので，他にセンタースピーカーやサラウンドスピーカーを使用しなくてもプレゼンス効果を十分楽しむことができます。又別にセンタースピーカー，サラウンドスピーカーを使用しても楽しむことができます。

■スピーカーの配置と使いかた

背面のスピーカースイッチを切り換えるときは，9ページを参照してください。

付属のスピーカーで楽しむ場合

SP　TV　SP

①DSPプレゼンスモード

●お好みの音場パターンを選びます。

②DOLBY 3 STEREO

……NORMALまたはWIDEモードにする。

背面のセンタースピーカースイッチ，サラウンドスピーカースイッチをOFFにする。

センタースピーカーが有る場合

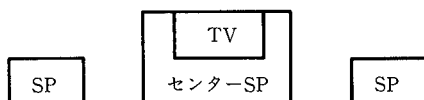
①DSPプレゼンスモード

●お好みの音場パターンを選びます。

②DOLBY 3 STEREO

センタースピーカーの大きさに合わせてセンターモードを選びます。

……NORMAL（センタースピーカーが小型の場合）

……WIDE（センタースピーカーが中型以上の場合）

背面のセンタースピーカースイッチをON，サラウンドスピーカースイッチをOFFにする。“CENTER ON” 点灯。

サラウンドスピーカー＋付属のスピーカーの場合

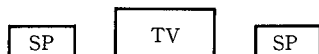
SP　TV　SP

SP　SP

①DSPプレゼンスモード

●お好みの音場パターンを選びます。

②DOLBY SURROUND PRO LOGIC

……NORMAL，WIDEまたはPHANTOMモードにする。

背面のセンタースピーカースイッチをOFF，サラウンドスピーカースイッチをONにする。

センタースピーカー＋サラウンドスピーカーの場合

SP　SP

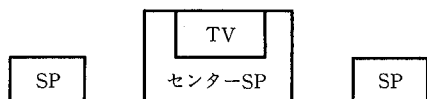
①DSPプレゼンスモード

●お好みの音場パターンを選びます。

②DOLBY SURROUND PRO LOGICモード

センタースピーカーの大きさに合わせてセンターモードを選びます。

……NORMAL（センタースピーカーが小型の場合）

……WIDE（センタースピーカーが中型以上の場合）

背面のセンタースピーカースイッチ，サラウンドスピーカースイッチをONにする。“CENTER ON” 点灯。

ドルビーサラウンド，3ステレオの調整

■NORMAL，WIDEの調整

1 サラウンドプロ・ロジックまたは3ステレオモードにする

●押すごとに図のように切り換わります。

2 NORMALまたはWIDEにする

DISPLAY MODEを PRESENCE にする。

●プロ・ロジックのときはNORMAL, WIDE, PHANTOMに，3ステレオのときはNORMAL，WIDEに切換ります。

3 音量を調整する

①TESTキーを1回押す　リモコンのみ

● 2秒ごとにL→CENTER→R→REAR（3ステレオモードではREARはありません。）の順でスピーカーから“ザーッ”という音がします。

②全てのスピーカーからの音量が同じになるように調整する　リモコンのみ

● 3ステレオの場合はリアスピーカーがありません。従ってフロントの3つのスピーカーからの音量が等しくなるように調整します。

③確認する
もう一度TESTキーを押す　リモコンのみ

● 1秒ごとにL→CENTER→R→REAR（3ステレオモードではREARはありません。）の順で音が出ます。

4 調整を終了する　●もう一度 TEST キーを押します。

■PHANTOMの調整

1 ドルビーサラウンドプロ・ロジックモードにする

●押すごとに図のように切り換わります。

2 PHANTOMにする

●NORMAL，WIDE，PHANTOMに切り換わります。

3 音量を調整する

①TESTキーを1回押す　リモコンのみ

● 2秒ごとにL→R→REARの順でスピーカーから“ザーッ”という音が出ます。

②4つのスピーカーからの音量が同じになるように調整する　リモコンのみ

③確認する
もう一度TESTキーを押す　リモコンのみ

● 1秒ごとにL→R→REARの順で音が出ます。

4 調整を終了する　●もう一度 TEST キーを押します。

インプットバランスの調整について

本機では，インプットバランスは自動的に調整されます。

●インプットバランスの調整は自動的に行われますのでソースを変えても再調整する必要はありません。常にクロストークは最小に抑えられ，ドルビープロロジック，ドルビー3ステレオの効果が最大限に発揮されます。

ドルビーサラウンド，3ステレオの再生

再生をする前に必ず44ページの調整を済ませておきます。

1 サラウンドプロ・ロジックまたは3ステレオモードにする

DDPro Logic /3 Stereo　本体

Pro Logic /3 Stereo　リモコン

OFF → SURROUND → 3 STEREO → OFF

●押すごとに図のように切換わります。

2 モードを選ぶ

DISPLAY MODEを PRESENCE にする。

本体　INPUT/PRESENCE　回す

リモコン　MODE　押す

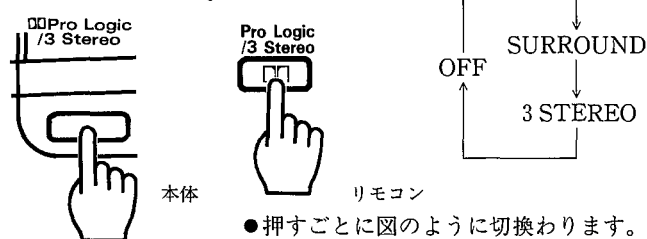
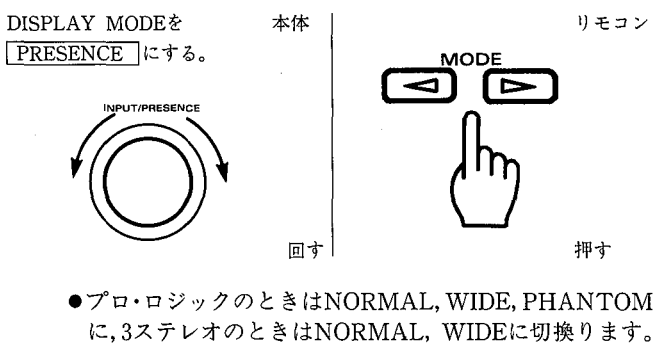
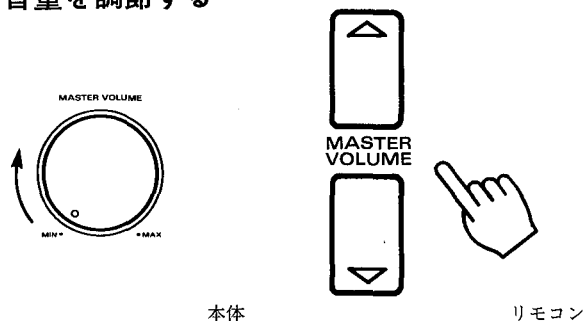
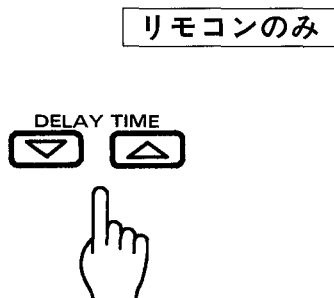
●プロ・ロジックのときはNORMAL, WIDE, PHANTOMに，3ステレオのときはNORMAL, WIDEに切換ります。

3 音量を調節する

本体　MASTER VOLUME　MIN　MAX

リモコン　MASTER VOLUME

4 ディレイタイムを設定する

リモコンのみ

DELAY TIME

●47ページの“DELAY TIMEの設定のしかた”を参照してください。
●ドルビー・プロ・ロジックモードのとき，ディレイタイムは15ms～30msの範囲を1msステップで調整することができます。
● 3 Stereoの場合，ディレイタイムは設定できません。

解除するには

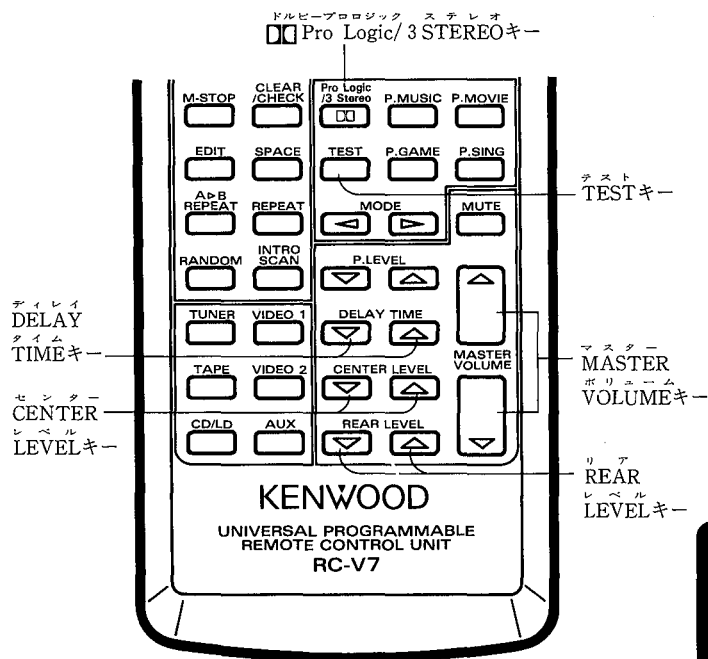
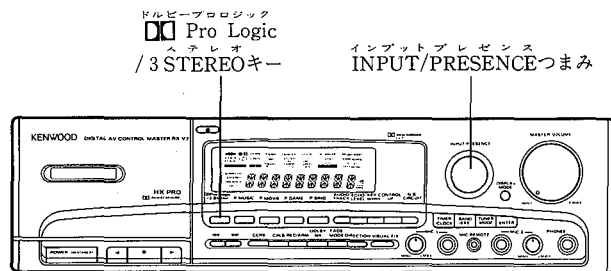
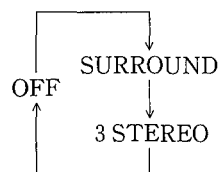
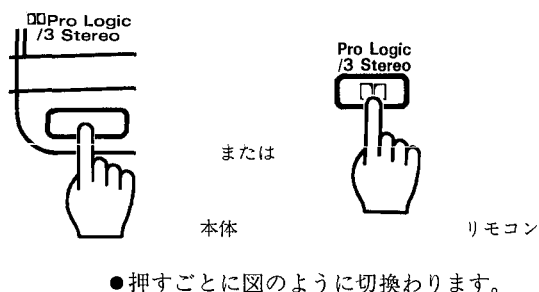
繰り返し押す

DDPro Logic /3 Stereo　本体

または

Pro Logic /3 Stereo　リモコン

●押すごとに図のように切換わります。

OFF → SURROUND → 3 STEREO → OFF

DSPプレゼンスについて

DSP（Digital Signal Processor）（デジタル シグナル プロセッサー）
プレゼンス効果を高める残響音成分をデジタル信号に変換し，音楽ソースの音質を損なうことなく，デジタル信号の処理だけで色々なプレゼンス効果を作っているシステムです。

本機には，DSPプレゼンスとしてP.MUSIC，P.MOVIE，P.GAME，P.SINGの4つのモードがあります。又各モードには5つの音場パターンがあります。ソースに合わせてモードとパターンを選ぶことにより，色々な音場効果を楽しむことができます。

音場パターンの種類と効果

①P.MUSICモード……………音楽ソースを楽しむときに選びます。

ARENA	高域の反射が多く残響時間の長いホール効果を再現します。
JAZZ CLUB	シンバルの響きわたるジャズライブハウスを再現します。
STADIUM	スタジアム特有の場内反射音をPAスピーカーの音に模して雰囲気を盛り上げます。
DISCO	心地よい残響音とグライコの併用で中高音の盛り上がったディスコ気分を再現します。
CHURCH	荘厳な教会の豊かな残響音を再現します。

②P.MOVIEモード……………映画を楽しむときに選びます。

REGULAR	ワイドに比べ比較的座席の少ない小劇場のイメージを再現します。
WIDE	座席の多い，大きなスクリーンの映画館のイメージを再現します。
SOFT	音がシャリシャリする場合，再生音が耳障りでなく滑らかに聞こえます。
CLEAR	音がこもりがちな場合，再生音がはっきりと歯切れ良く聞こえます。
MONO/TV	再生音がモノラルになるテレビ，映画で疑似ステレオ効果を表現します。

③P.GAME……………VIDEO出力，AUDIO出力を持ったゲーム機でゲームをするとき選びます。

SPACE	宇宙空間などで展開されるシミュレーションゲームなどに適しています。
WARS	戦闘シーンなどの多いシミュレーションゲームなどに適しています。
RACING	レースゲームなどの臨場感を再現するのに適しています。
SPORTS	広い野球場などの雰囲気を再現します。
ROLEPLAY	電子音楽等でBGMが構成されるゲームなどに適しています。

④P.SING……………カラオケ演奏をするときに選びます。

BUDOKAN	大型のコンサートホールで歌っているイメージを再現します。
BIRDLAND	小さなライブジャズクラブで歌うイメージを再現します。
DOME	天井の非常に高いライブ会場で歌っている気分を演出します。
OPERA	有名なオペラハウスで演奏会をしている気分が楽しめます。
KARAOKE	キーコントロールやヒットマスターを使用するときにプレゼンス音場効果をスルーします。

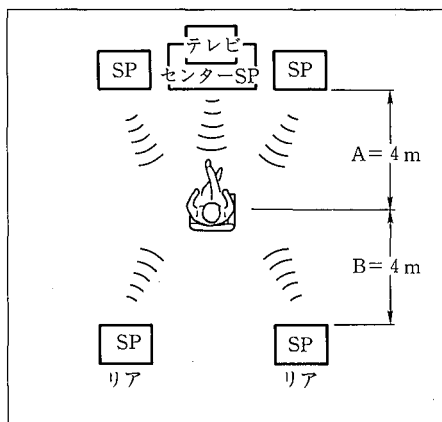
DELAY TIMEの設定のしかた　DOLBY SURROUND PRO LOGICのみ

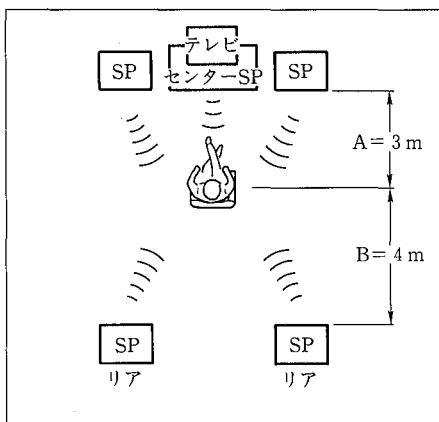
おききになる位置で，フロントスピーカーまでの距離とリア（サラウンド）スピーカーまでの距離のちがいによりディレイタイムの調整が必要です。

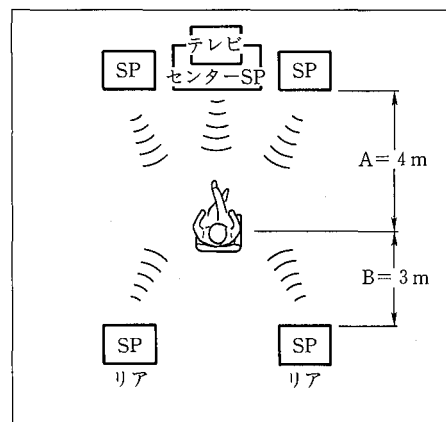
下記の算出式を目安にディレイタイムを設定してください。

リア・スピーカーの取り付け位置と，リスニングポジションにおけるディレイタイムの関係

ディレイタイム＝20ms＋3ms×(Am−Bm)
＝リスニングポジション

20ms＋3ms×(4m−4m)

約20ms

20ms＋3ms×(3m−4m)

約17ms

20ms＋3ms×(4m−3m)

約23ms

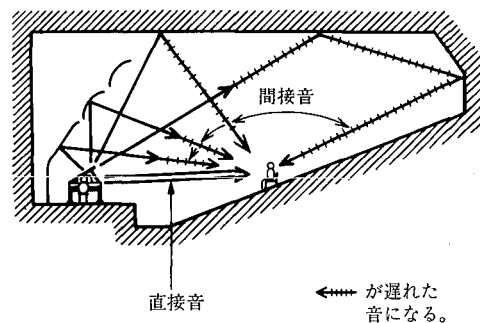
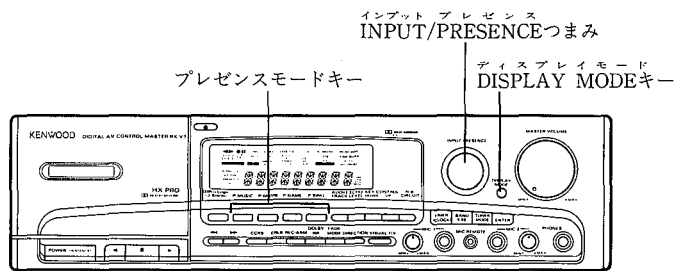
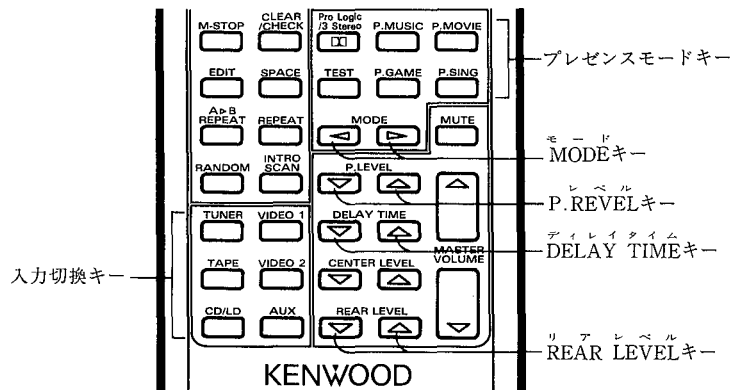
DELAY TIME（遅延時間）について　DSPプレゼンス

図のコンサートホールの例のように，ステージで演奏したピアノの音は，ピアノから直接届く直接音のほかに反射板，天井，壁，後壁に一二度当たって跳ね返ってくる間接音，および無数に反射を繰り返し消えていく残響音とが混ざりあった合成音としてきこえます。

間接音は直接音に対して必ず遠回りの間を通ることになります。その遅れた時間を遅延時間（DELAY TIME）といい，間接音，または残響音の大きさを残響音レベル（PRESENCE LEVEL）といいます。この遅延時間を伴った間接音が，よい音響効果と会場の臨場感を出す重要な役目となっています。

スピーカーの配置によっても音場設定が異なりますので，いろいろと遅延時間を変えてよりよい音場を設定してください。

コンサートホールの例

DSPプレゼンスについて

DSPプレゼンスの再生

1 ききたいソースを選ぶ

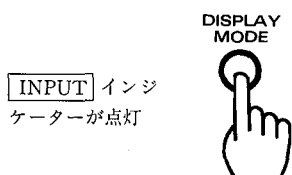
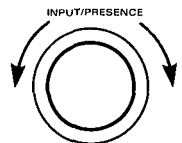
本体

①INPUT表示にする

INPUT インジケーターが点灯

②入力ソースを選ぶ

リモコン

VIDEO 1
TAPE VIDEO 2
CD/LD AUX

- 入力がチューナーのとき，プレゼンスはOFFになります。

2 プレゼンスモードを選ぶ

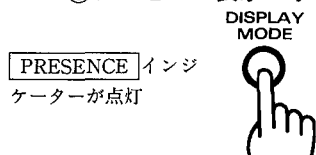
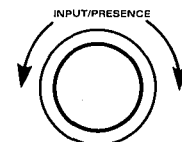
PRESENCE インジケーターが点灯

- 各インジケーターが点灯します。
- プレゼンス録音されたテープを再生する場合は，プレゼンスをOFFにします。（インジケーター消灯）

3 音場パターンを選ぶ

本体

①プレゼンス表示にする

PRESENCE インジケーターが点灯

②音場パターンを選ぶ

リモコン

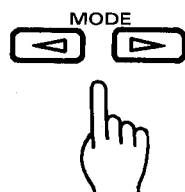
- 各モードの音場パターンは，46ページを参照してください。

リアレベルを調節する

サラウンドスピーカーが接続されていて，背面のサラウンドスピーカースイッチがONの場合のみ調節します。

リモコンのみ

プレゼンスレベルを調節する

お好みの音場にする場合，調節します。

リモコンのみ

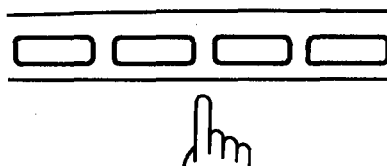
遅延時間を調節する

お好みの音場にする場合，調節します。

リモコンのみ

- 47ページ参照
- 5～100msの範囲を5msステップで調整することができます。

解除するには

もう一度それぞれのプレゼンスモードキーを押す

- インジケーターが消灯します。

カラオケ演奏をする

■カラオケ演奏の準備をする

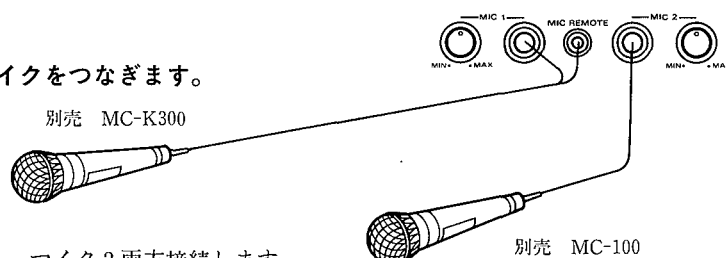
1 テレビの電源を入れる

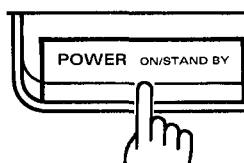
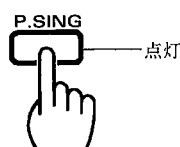
テレビの入力切換スイッチをビデオ側にします。

2 マイクをつなぐ

マイク１またはマイク２に，別売りのマイクをつなぎます。

別売　MC-K300

別売　MC-100

- 二人でデュエットをするときは，マイク１，マイク２両方接続します。
- 別売りのマイクMC-K300をつなぐと，キーコントロールや，やり直しなどの操作がマイクでできます。
- 別売りのマイクMC-K500を接続したとき，マイクのマイクボリュームコントロールスイッチは働きません。

3 本機の電源を入れる

4 再生モードをカラオケにする

5 音場パターンを選ぶ

- “BUDOKAN”，“BIRDLAND”，“DOME”，“OPERA”，“KARAOKE” があります。(46ページ参照)

カラオケディスクの種類と音声モードについて

カラオケ用のディスクには次の３種類があります。通常はディスクを入れると，自動的に音声モードが選ばれます。

①音声多重カラオケディスク：Lch（左チャンネル）にカラオケ，Rch（右チャンネル）にボーカルと伴奏，の入ったディスク。
- MULTIPLEX インジケーターが点灯します。

②ステレオカラオケディスク：アシストボーカルなしの伴奏がステレオで入っているディスク。
- “STEREO” インジケーターが点灯します。

③HiFiカラオケディスク：右図のようなマークの付いたディスク。

digital SOUND MULTI AUDIO

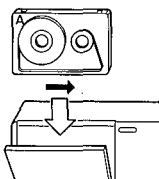
アナログ音声部：Lch（左チャンネル）にカラオケが，Rch（右チャンネル）にボーカルと伴奏が入っています。
デジタル音声部：HiFiステレオカラオケが入っています。
- “HiFi”，MULTIPLEX インジケーターが点灯します。

- 自動的に音声モードが切り換わらないディスクやカラオケテープを使用する場合は AUDIO TRACK キーを押してご希望の音声モードを選んでください。

AUDIO TRACK

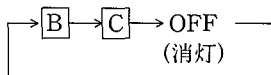
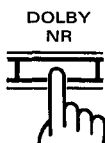
- カラオケディスクはほとんどが上の３種類に分けられますが，中にはこれ以外のディスクもありますので，ジャケットの内容をよく読んでからご使用ください。

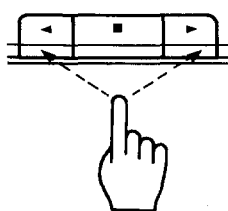
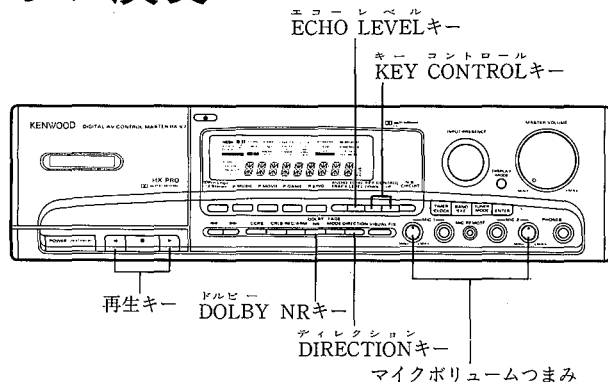
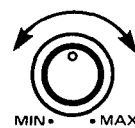
■カラオケ用テープによるカラオケ演奏

1 カセットデッキの準備をする

④DOLBY NRの選択

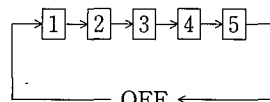
→B→C→OFF（消灯）

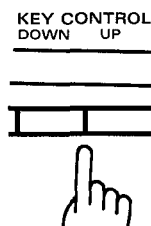
2 音声モードを合わせる

AUDIO TRACK

音多テープの場合は
MULTIPLEX インジケーターを
ステレオテープの場合は
"STEREO" インジケーターを
点灯させます。

3 歌う曲を再生する

●DPSSを用いると便利です。（30，31ページ参照）

4 マイクの音量を調整する

●右に回すとマイクの音が大きくなります。

5 マイクエコーを調整する

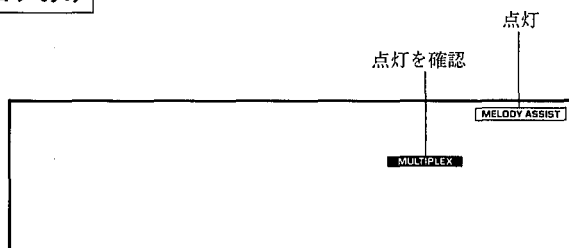
→1→2→3→4→5→OFF

●押すごとにエコーの量が大きくなります。

6 音程を合わせる

●押すごとに音程が変わります（53ページ参照）。

便利な機能

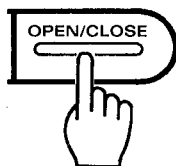
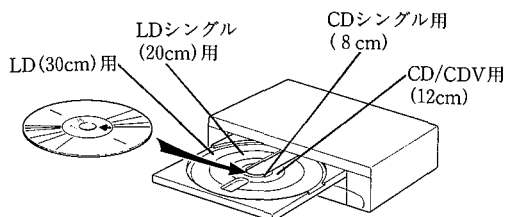
MELODY ASSISTについて　（HIFI音多ディスク，音多ディスク，音多テープのみ）

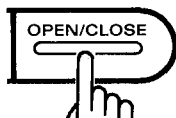
自分の声と歌手の声を入れ換えるときに押します。
（自分の声がなくなると歌手の声がきこえてきます。）　リモコンのみ

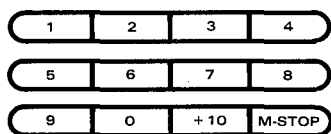
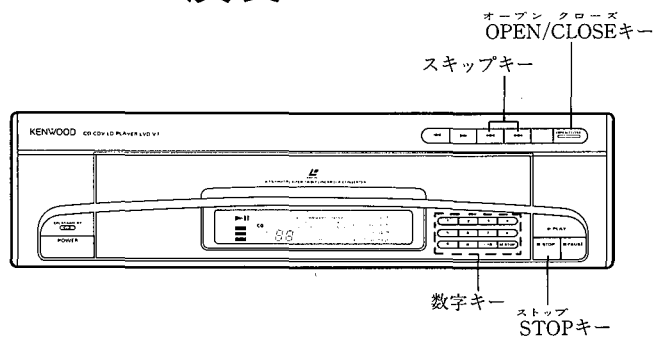
解除するときはもう一度押す

●ステレオモードでは MELODY ASSIST キーは，受け付けません。
●まだ慣れていない歌を歌手と一緒に歌って練習をするときに便利です。

■カラオケ用ディスクによるカラオケ演奏

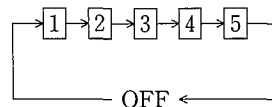
1 ディスクを入れる

①トレイを開ける

②ディスクを入れる

●再生面に触れないように持ちます。
●ディスクは必ず1枚だけ入れます。
●ディスクをトレイの溝に合わせて正確に置きます。

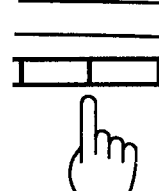
③トレイを閉じる

●CD音多ディスクの場合，AUDIO TRACKキーを押して MULTIPLEX インジケーターを点灯させます。

2 歌う曲を選ぶ

入力例
15は +10 を1回押してから 5 を押す
33は +10 を3回押してから 3 を押す

3 マイクの音量を調整する

●右に回すとマイクの音が大きくなります。

4 マイクエコーを調整する

●押すごとにエコーの量が大きくなります。

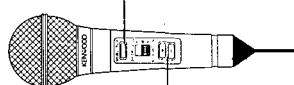
5 音程を合わせる

KEY CONTROL
DOWN UP

●押すごとに音程が変わります（53ページ参照)。

便利な機能

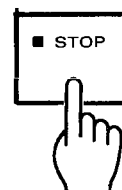
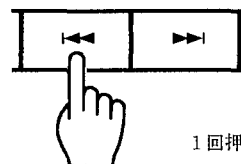
やり直しスイッチ

別売りのマイク（MC-K300）を接続したとき，マイクのスイッチを押すと，いま歌っている曲の初めに戻ります。
歌の途中で間違えたときに便利です。
停止中に押すと再生が始まります。

やり直しスイッチ

キーコントロールキー

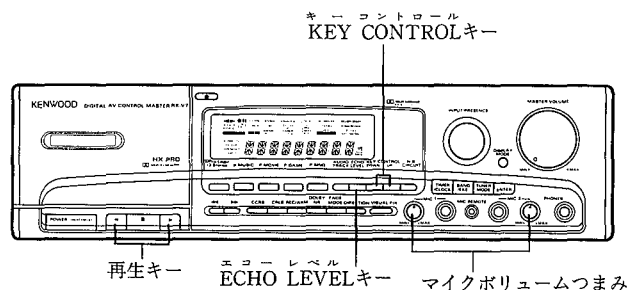
●キーコントロールもマイクのスイッチでできます。
●詳しくはマイクの取扱説明書をお読みください。

再生を止める

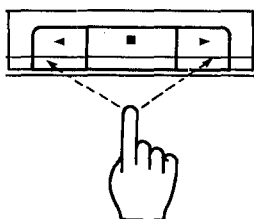
■ STOP

曲の初めに戻る

1回押す

●再生中に押す。

■一般のステレオテープによるカラオケ演奏

ボーカルの入っている一般のステレオソースを再生してカラオケが楽しめます。

1 テープを入れる

●AUDIO TRACKキーを押して“STEREO”インジケーターを点灯させます。

2 歌う曲を再生する

●DPSSを用いると便利です。(30, 31ページ参照)

3 HIT MASTERキーを押す

リモコンのみ

HIT MASTER

●ボーカルの声が小さくなります。

4 マイクの音量を調整する

MIN MAX

●右に回すとマイクの音量が大きくなります。

5 マイクエコーを調整する

ECHO LEVEL

1→2→3→4→5→OFF

●押すごとにエコーの量が大きくなります。

6 音程を合わせる

KEY CONTROL
DOWN UP

●押すごとに音程が変わります(53ページ参照)。

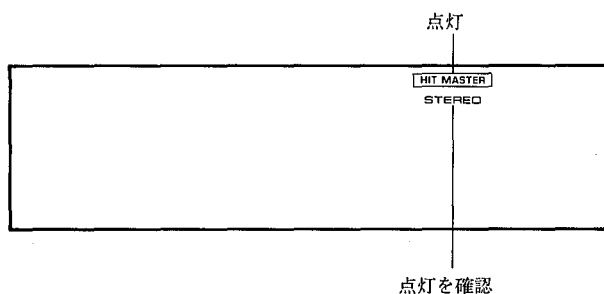
便利な機能

HIT MASTERについて

リモコンのみ

一般のステレオディスクやテープ(カラオケ用でないソフト)から,ボーカルを小さくしてカラオケ用として使用するときにこのキーを押します。

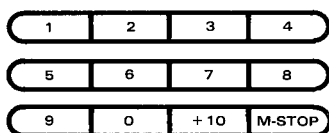
解除するときはもう一度押す

●MULTIPLEXモードまたはHIFI MULTIPLEXモードではHIT MASTERは受け付けません。

■一般のステレオディスクによるカラオケ演奏

ボーカルの入っている一般のステレオソースを再生してカラオケが楽しめます。

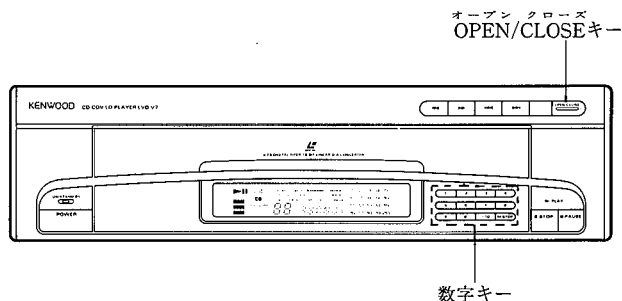
1 ディスクを入れる

● "STEREO" インジケーターが点灯します。

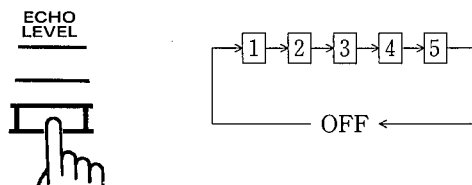
2 歌う曲を選ぶ

入力例
15は +10 を1回押してから 5 を押す
33は +10 を3回押してから 3 を押す

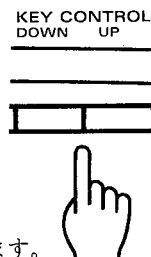
3 HIT MASTERキーを押す

リモコンのみ

●ボーカルの声が小さくなります。

4 マイクの音量を調整する

●右に回すとマイクの音量が大きくなります。

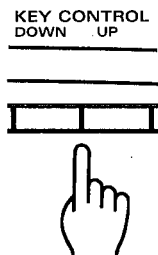
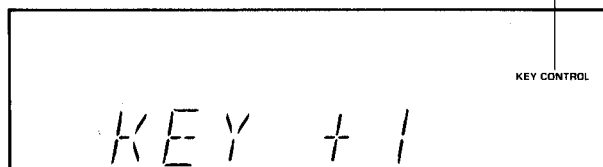
5 マイクエコーを調整する

●押すごとにエコーの量が大きくなります。

6 音程を合わせる

●押すごとに音程が変わります。

便利な機能

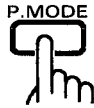
KEY CONTROLについて

自分の声の高さにあわせて曲の音程を上げたり，下げたり，することができます。(16段階)

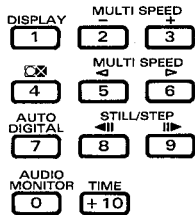
KEY 0：標準の音程

●UPキー　　：押すごとに音程が上ります。(＋7)
●DOWNキー：押すごとに音程が下がります。(－8)

予約カラオケ演奏のしかた（CD, LD）

■次に歌う曲を予約する リモコンのみ

1 予約（プログラム）モードにする

●演奏中に押すと，演奏中の曲が1曲目に予約されます。

2 予約する曲を選ぶ

（リモコンをAVコントロールマスター側に向けます。）
例：予約する曲番号2，5，15を選ぶとき
数字キーで 2 5 +10 5 の順に押す

●20曲まで選べます。
●間違えたときは，CLEARキーを押して，指定し直します。

3 再生する

■予約を確認する

Bの位置にする

●押すごとに選んだ順番（P－番号）と曲番号を表示します。

■予約を追加する

追加したい曲番号を押す

（リモコンをAVコントロールマスター側に向けます。）

■予約を変更する

1 チェックキーを押す

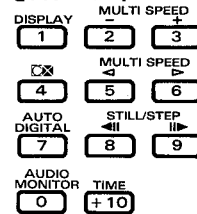
変更したい曲番号になるまで繰り返し押す

Bの位置にする

2 変更する曲番号を押す

（リモコンをAVコントロールマスター側に向けます。）

Aの位置にする

●演奏している曲は変更できません。

■予約を取り消す

後ろから順に消していく

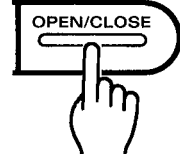
CLEAR /CHECK

Aの位置にする

●演奏している曲は取り消しできません。
●押すごとに後ろから順に消えていきます。

全部消す

P.MODE　または　OPEN/CLOSE

ご注意：
TOC（20ページ参照）のないディスクで，ディスクに存在しない曲番号を予約して演奏すると，ディスクにないことを確認したあと次の予約曲を再生します。

■カラオケ演奏を録音する　P.SINGモード

1 カセットデッキの準備をする

①デッキにテープを入れる
②走行方向を合わせる
③録音する面を選ぶ
④DOLBY NRを選ぶ　(32ページ)

2 ディスクを入れる

①トレイを開ける
②ディスクを入れる
③トレイを閉める　(51ページ)

3 音場パターンを選ぶ　P.SINGモードにする

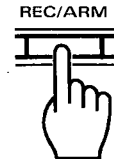
(P46参照)

4 録音レベルを合わせる

①歌う曲を再生する
②歌をうたう（録音レベル設定用）
③CRLSキーを押す
約20秒でレベル合わせが完了します。(32ページ)

5 歌う曲を再生する

歌う曲の曲番の数字キーを押す

6 録音を始める

1回押す

7 歌を歌う

便利な機能

RANDOM KEY CON.について

P.SINGモード　リモコンのみ

10秒間隔で音程をランダム（無作為）に上げたり下げたりします。
どれだけキーの変化に対して自分がついていくことができるか試してみてください。

"KEY CONTROL" インジケーター点滅

解除するときは，もう一度押す

●他にもいろいろな楽しみかたがあると思います。自由な発想でお楽しみください。

STAGE REVIEWについて

P.SINGモード　リモコンのみ

STAGE REVIEWキーを押して歌を歌うと下の手順で歌が盛り上がったところを録音します。後でそのところだけきいてお楽しみいただけます。

①STAGE REVIEWキーを押す
STAGE REVIEW インジケーター点灯

STAGE REVIEW

②ディスクを再生する
③歌を歌う

1.約30秒後デッキはCRLS動作になります。
2.約30秒後デッキは録音状態になります。
3.約1分間録音されます。
4.録音後，録音開始したところまで巻き戻され，停止します。
5.歌が終了すると同時にデッキが再生を始めます。
（CD/LDプレーヤーは一時停止状態になります。）
6.約1分後CD/LDプレーヤーの再生が始まります。

解除するときは，もう一度押す

ご注意：
1.曲の長さが2分以下の場合は，正常に動作しません。
●CD/LDプレーヤーはポーズ状態になります。
2.テープエンド付近では，正常に動作しません。
3.STAGE REVIEW中は他のキーを押さないでください。

必ず時刻合わせを終わらせてからタイマー設定してください

■タイマーでディスクを再生する

1 電源をONにする

RX-V7の POWER キーを押す

POWER ON/STAND BY

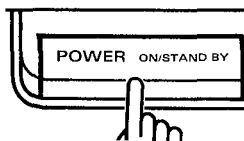
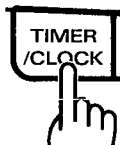
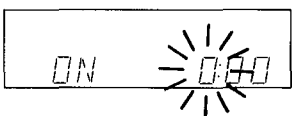
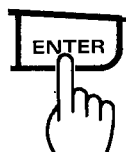
2 タイマー確認表示モードにする

TIMER /CLOCK

ON 1400

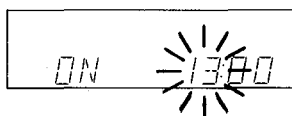
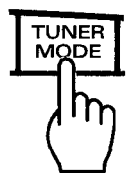
3 タイマー設定モードにする

ENTER

ON 0:00

4 ONする時刻を入力する

①"時間"を入力する

TUNER MODE

ON 13:00

●希望の時間になるまで繰り返し押す。

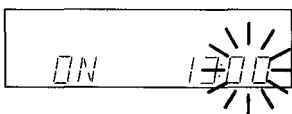
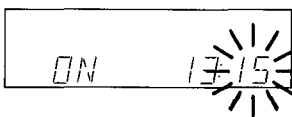
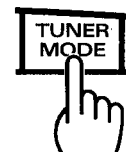
②設定する

ENTER

ON 1300

③"分"を入力する

TUNER MODE

ON 1315

●希望の分になるまで繰り返し押す。

④設定する

ENTER

MODE

5 PLAYを選択

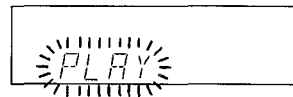
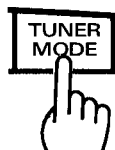
①PLAYを選ぶ

TUNER MODE

PLAY

●押すごとにPLAY⟷RECに切り換わります。

②設定する

ENTER

CD/LD

6 CD/LDを選ぶ

①CD/LDを選ぶ

TUNER MODE

CD/LD

●押すごとにCD/LD ⟷ TAPEに切り換わります。

②設定する

ENTER

7 CD/LDプレーヤーにディスクを入れる

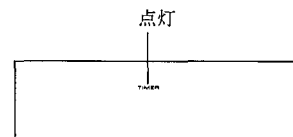
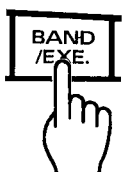
8 電源を切る

POWER ON/STAND BY

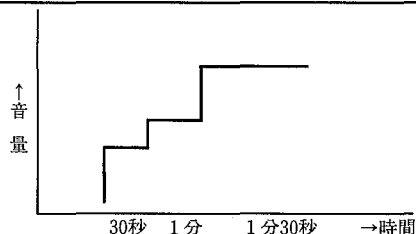
9 タイマー動作状態にする

BAND /EXE.

点灯

TIMER

●時間が来ると自動的にCD/LDの再生になります。1時間再生して停止します。
●タイマー機能を使わないときはもう一度押します。

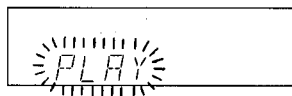
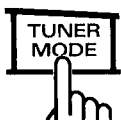
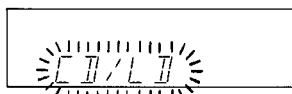
タイマーON時の音量について

本機ではタイマーで電源が入ると，音量は図のように3段階で大きくなります。
●MASTER VOLUMEつまみは音量に合わせてまわります。
●解除する場合，リモコンのMASTER VOLUMEキーを押す。
●動作の途中で本体のMASTER VOLUMEつまみを回さないでください。

■タイマーでテープを再生する

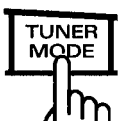
1 ONする時刻を入力する

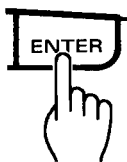
56ページの手順1～4を行ってONする時刻を入力する

2 PLAYを選択

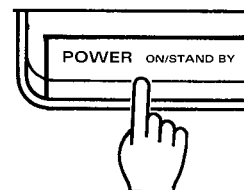
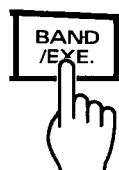
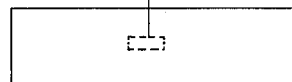
①PLAYを選ぶ

●押すごとにPLAY←→RECに切り換わります。

②設定する

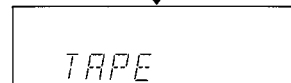
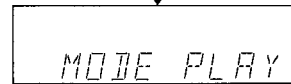
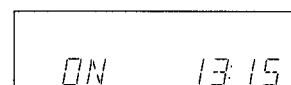
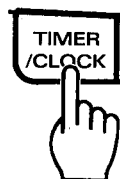
3 TAPEを選ぶ

①TAPEを選ぶ

●押すごとにCD/LD ←→ TAPEに切り換わります。

②設定する

4 テープを入れ，再生条件を決める

再生する面とDOLBY NRを選ぶ

5 電源を切る

6 タイマー動作状態にする

●時間が来ると自動的にテープの再生になります。1時間再生して停止します。
●タイマー機能を使わないときはもう一度押します。

タイマー設定状態の確認

TIMER/CLOCKキーを押す
●約3秒間ずつ右の表示をします

タイマーでチューナーをきく場合（あらかじめ入力切換をチューナーにしておきます。）

“タイマーでディスクを再生する”の手順7でディスクをCD/LDプレーヤーに入れなかった場合，
“タイマーでテープを再生する”の手順4でテープをデッキに入れなかった場合，

タイマー設定時間がくるとチューナーに切り換わります。

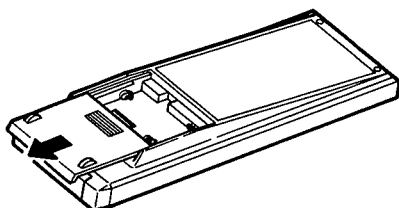
ご注意：
1.プログラムの途中で操作を間違えたときは，TIMER/CLOCKキーを押して初めからやり直してください。
2.プログラムを設定したあとで変更したいときは，初めからやり直してください。
3.タイマーで電源がONしているときに，TIMER/CLOCKキーや，POWERキーを押すと，正常に作動しなくなります。

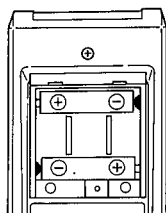
■タイマーで放送を録音する

ご注意：
1.プログラムの途中で操作を間違えたときは，TIMER/CLOCK キーを押して手順2からやり直してください。
2.プログラムを設定したあとで変更したいときは，初めからやり直してください。
3.タイマーで電源がONになると，音量は最低に設定されます。
4.タイマーで電源がONしているときに，TIMER/CLOCK キーや，POWER キーを押すと，正常に作動しなくなります。

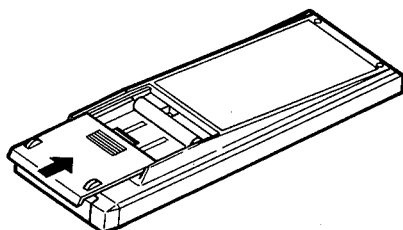
リモコンの使いかた

■電池の入れかた

1 ふたを開ける

● 裏面の電池用ふたを軽く押さえながら，➜印の方向にすべらせます。

2 付属の乾電池2本を入れる

● 電池の極性（＋，－）はケースの底のマークにしたがって入れる。

ご注意：
付属の乾電池は，リモコン動作チェック用です。寿命が短いことがありますので，ご了承ください。

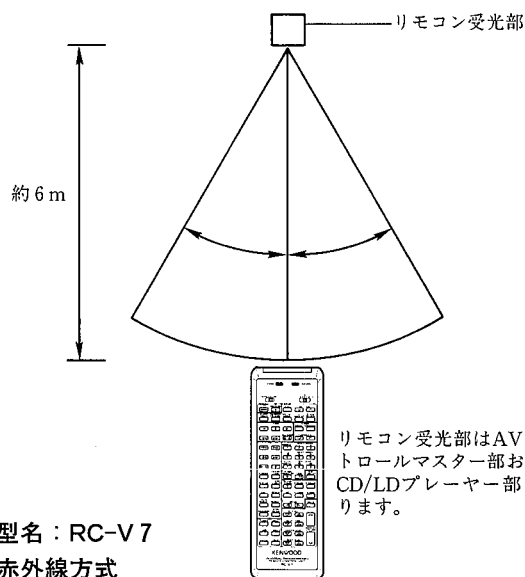
3 ふたを閉じる

電池交換について

①操作キーを押してもTRANSMIT（トランスミット）インジケーターが点灯しなくなった場合は，電池が消耗していますので交換してください。新しい電池は寿命の長いアルカリ電池（LR-03/AM-4）をご使用ください。

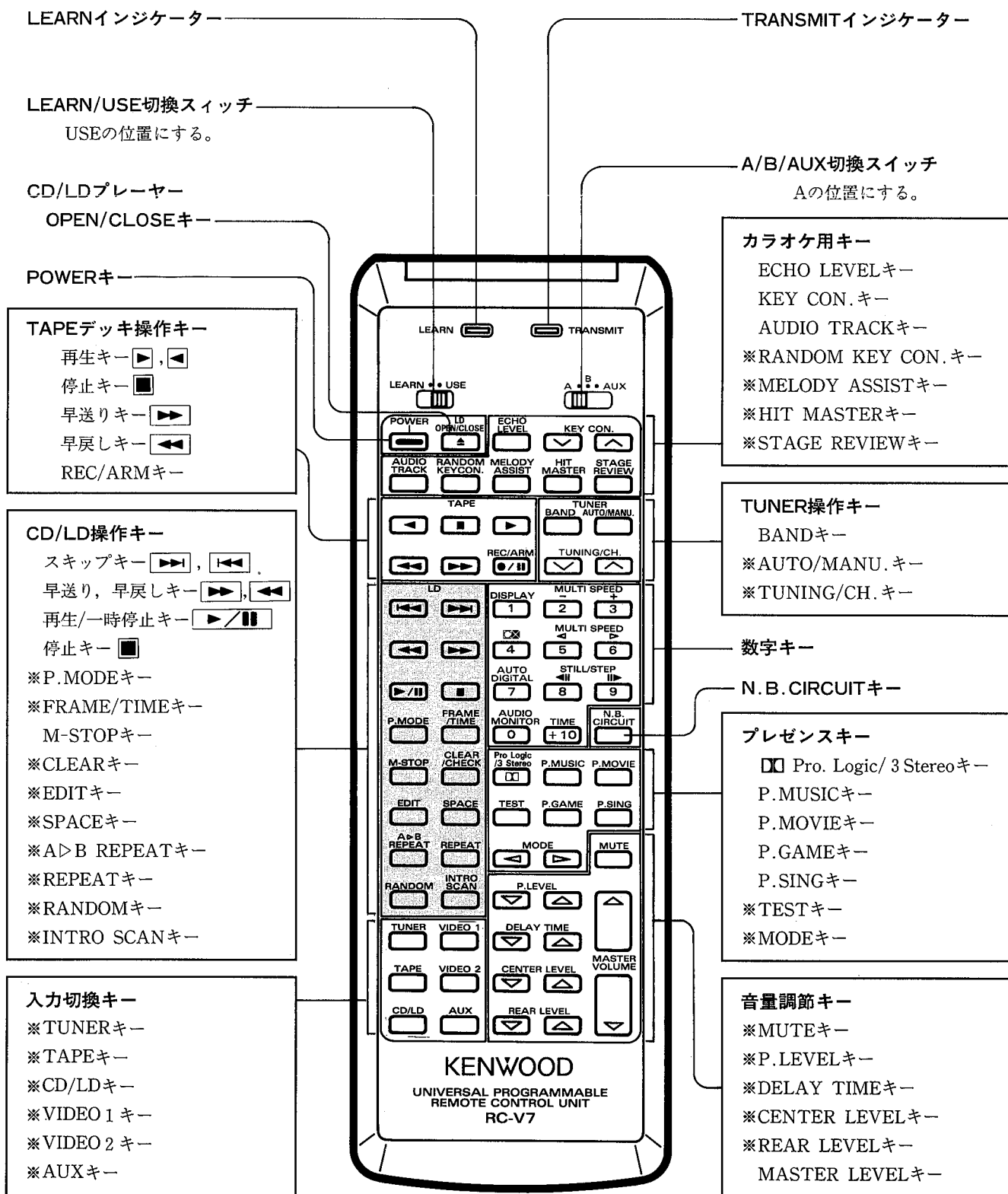
②電池交換のため電池を抜いても記憶されたコードはすぐには失われませんが，3分以上電池を入れないで放置しますと記憶させたコードが消去されることがあります。このときは再び記憶させる必要があります。ただし固定キーのコードは失われません。

ご注意：
古い電池と新しい電池をいっしょに使用しますと腐食の原因となることがありますのでさけてください。

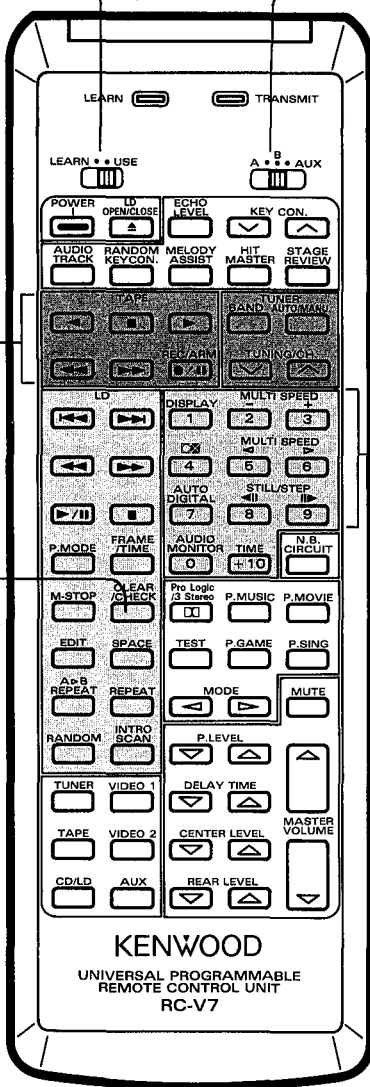
■リモコンの操作範囲

温度，湿度や使用場所の条件等により変化しますが，およそ図のようになっています。

型名：RC-V7
赤外線方式

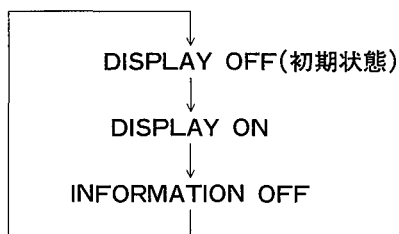
ご注意：
1. リモコンの各操作キーを押してから次の操作キーを押すときは，約1秒以上の間隔をあけて確実に押してください。すぐに次のキーを押しますと正しい動作をしないことがあります。
2. リモコン受光部に直射日光や高周波点灯（インバーター方式等）の蛍光灯の光が当たると，正しく動作しないことがあります。このような場合，誤動作を避けるために設置場所を変えてください。

■オーディオ機器の操作

※マークはリモコンのみの操作キーです。

▒の部分のキーを操作するときは，リモコンをCD/LDプレーヤー（LVD-V7）に向けます。
その他のキーはAVコントロールマスター（RX-V7）に向けます。

■ビデオ機器の操作

DISPLAYキーについて

押すごとにテレビ画面のCD/LDプレーヤーの表示が次のようにかわります。

DISPLAY OFF（初期状態）
↓
DISPLAY ON
↓
INFORMATION OFF

①DISPLAY ON：映像信号の有無にかかわらず，いろいろな表示をします。

②DISPLAY OFF：映像信号が入っているとき（背景に画像が出ているとき）文字表示はAUDIO MONITOR，DIGITAL/ANALOG，CX ON/OFF，REPEAT ON/OFF，A−B REPEAT，マルチスピードの表示をします。

●映像信号のないとき，画面はグレーになって，文字表示をします。

③INFORMATION OFF：文字表示はしません。

●映像信号のないとき，画面はグレーになります。

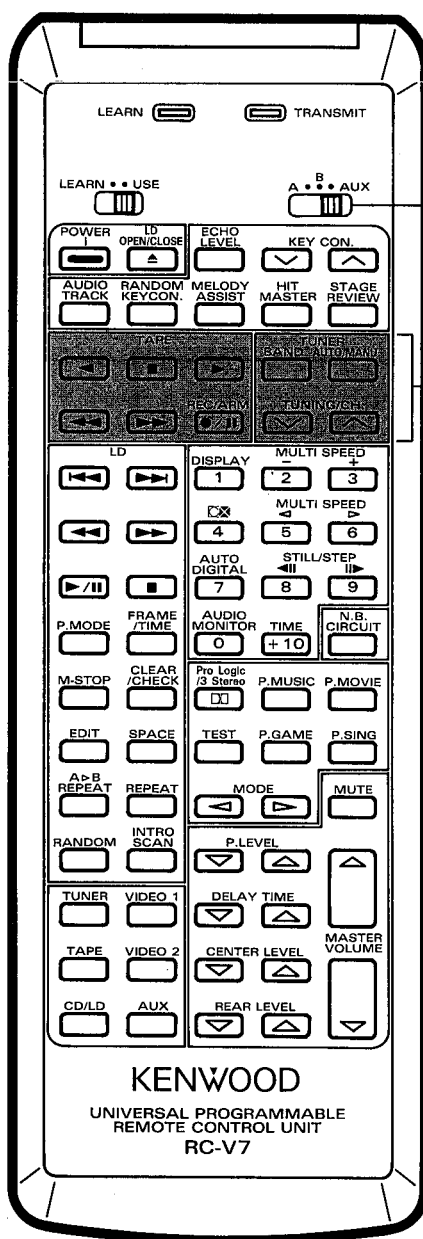
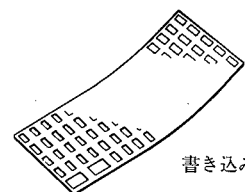
●本体のディスプレイは，チャプター（トラック）ナンバーと，時間またはフレームナンバー表示になります。

■記憶リモコンとして使用する場合

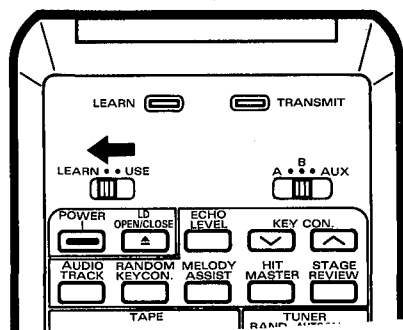
他のオーディオ機器，ビデオ機器のリモコン機能を本リモコンに登録（メモリー）することができます。登録のしかたは，63ページを参照してください。

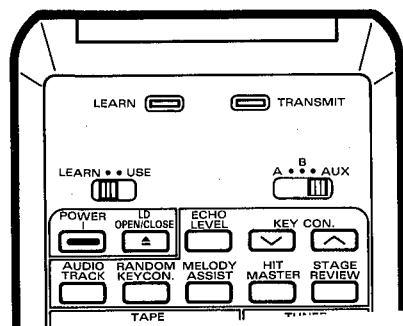
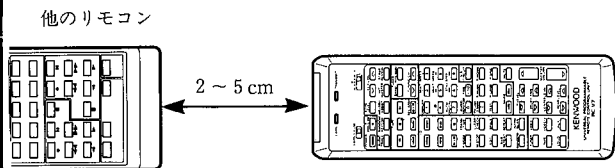
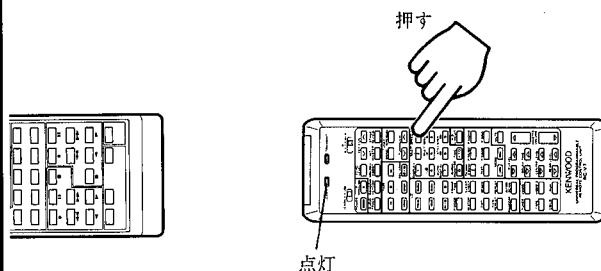
A/B/AUX切換スイッチの位置によって記憶キー(ラーニングキー)が異なります。

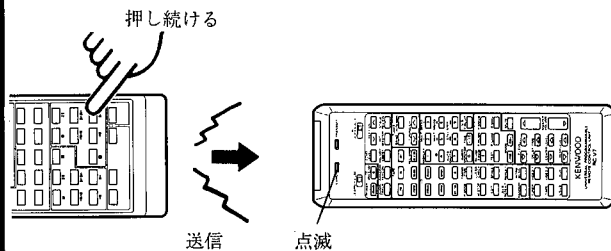
Aのとき，登録（メモリー）できるキーはありません。

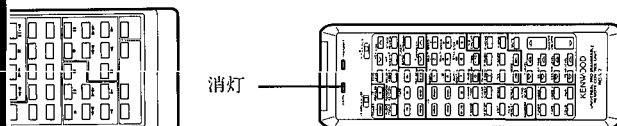
“AUX” のとき
全面が記憶キー(ラーニングキー)になります。他のオーディオ機器，ビデオ機器のリモコン機能を登録（メモリー）してください。

“B” のとき
この部分の操作キーにお手持ちのビデオ機器のリモコン機能を登録（メモリー）することができます。

付属の書き込みシートに登録（メモリー）された内容を書いておくと便利です。油性サインペン，鉛筆等で書けます。消すときは普通の消しゴムで強くこすってください。

■他のリモコン機能を，本リモコンに登録(メモリー)するには

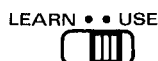
1 LEARN/USE切換スイッチをLEARNにする

2 A/B/AUX切換スイッチを希望の位置にする

BまたはAUXを選ぶ

3 他のリモコンの頭部（送信部）と本リモコンの頭部を向い合わせに置く

4 本リモコンの登録したいキーを押す

●LEARNインジケーターが点灯します。

5 30秒以内に，他のリモコンの登録（メモリー）させたいキーを押す（押し続ける）

●LEARNインジケーターが点灯から点滅にかわり，登録中となります。

6 LEARNインジケーターが2度点滅して消えてから，他のリモコンのキーから手を放す

●LEARNインジケーターが消えるまで，お手持ちのリモコンのキーを押しつづけてください。
●LEARNインジケーターが2度点滅してきえると，登録（メモリー）完了です。
●他のキーを登録（メモリー）する場合は，手順4～6を繰り返してください。

■登録内容を確認する

1 LEARN/USE切換スイッチをUSEにする

LEARN • • USE

2 確認したいキーを押す

●A/B/AUX切換スイッチを確認したいキーのモードにする。

3 操作しようとした機器が動作するか確認する

■登録内容を変更する

登録（メモリー）操作をもう一度する

●すでに登録（メモリー）されている内容が自動的に消され，新しい内容が登録（メモリー）されます。

■通常のリモコン操作をする

1 LEARN/USE切換スイッチをUSEにする

LEARN • • USE

2 登録（メモリー）されたキーを押す

●TRANSMITインジケーターが点滅してリモコン操作ができます。

■登録内容をすべて消す

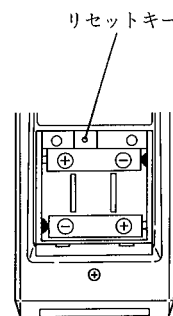
1 LEARN/USE切換スイッチをLEARNにする

2 A/B/AUX切換スイッチをAUXにする

3 操作キーのどれかひとつを押す

●LEARNインジケーターが点灯します。

4 リモコン裏面にある電池ケースのふたをはずす

5 電池ケース内のリセットキーをボールペンの先等で押す

リセットキー

●すべての登録（メモリー）が一括消去され，リモコンの初期状態に戻ります。
●リセットキーは，操作キーを押してから30秒以内に押してください。

他のAV機器のリモートコントロールシステムのほとんどが本機と同じ赤外線方式を採用していますので，ほとんどのリモコン対応機器の機能を記憶することができます。本取扱説明書とともに，他のAV機器の取扱説明書をよくお読みのうえ，ご使用ください。

ご注意：
1.相手のリモコンの光出力が大きい場合，正常に登録（メモリー）できないことがあります。その場合は，本機との距離を離して再度登録し直してください。
2.登録（メモリー）中にLEARNインジケーターとTRANSMITインジケーターが両方同時に点滅した場合は，登録できないキーか，登録が完全にできていません。もう一度登録し直してください。
3.赤外線以外の信号形式のものや特殊な変調方式のもの，または記憶容量をオーバーした場合，登録（メモリー）はできません。
4.ラーニングキーを押して，30秒以上すぎますと，LEARNインジケーターが点灯から消灯になります。消灯すると登録（メモリー）はできません。登録する場合，もう一度登録したいキーを押してください。
5.ラーニングキーを2つ以上押した場合は，最後に押したキーに登録（メモリー）されます。
6.AV機器以外，例えばエアコン等は絶対に登録（メモリー）しないでください。

故障と思われる症状ですが……

調子が悪いと故障と考えがちですが，サービスに依頼する前に症状に合わせて一度チェックしてみてください。

リモコン部

症　　　状	原　　　因	処　　　置
リモコンで操作ができない。	●電池切れ。 ●操作する位置が遠すぎる，角度がずれている。または障害物がある。 ●システムコントロールコードが正しく接続されていない。 ●再生しようとする機器に，テープ，ディスクが入っていない。 ●録音中のカセットデッキで再生しようとしている。 ●A/B/AUX切換スイッチが合っていない。	●新しい電池に入れかえる。 ●操作範囲内で操作する。 ●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ●再生しようとする機器に，テープ，ディスクを入れる。 ●録音が終わるまで待つ。 ●A/B/AUX切換スイッチを合わせる。

アンプ部・スピーカー部

症　　　状	原　　　因	処　　　置
音が出ない。	●スピーカーコードが，はずれている。 ●音量を最小にしている。 ●アンプのMUTINGがONで，VOLUMEポイントインジケーターが点滅している。 ●ヘッドホンプラグが差込まれている。 ●オーディオコードの接続が，はずれている。	●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ●適当な音量にする。 ●MUTINGをOFFにする。 ●ヘッドホンプラグを抜く。 ●オーディオコードの接続を確認する。
ディスプレイに“PROTECT”と点滅表示し，音が出ない。	●スピーカーコードがショートしている。	●一時電源スイッチを切り，ショートを取り除き，再度電源スイッチを入れる。
スピーカーの片側から音が出ない。	●スピーカーコードが，はずれている。	●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。
サラウンドリアスピーカー，センタースピーカーから音が出ない。または，小さい。	●リアスピーカーコードおよびセンタースピーカーコードが，はずれている。 ●サラウンド再生モードになっていない。 ●REAR LEVEL, CENTER LEVELが最小になっている。 ●サラウンドスピーカースイッチ，センタースピーカースイッチがOFFになっている。	●“接続のしかた”をみて正しく接続し直す。 ●ドルビーサラウンドまたはDSPプレゼンスモードにする。 ●REAR LEVEL，CENTER LEVELを調節する。 ●サラウンドスピーカースイッチ，センタースピーカースイッチをONにする。

チューナー部

症　　　状	原　　　因	処　　　置
時刻表示が，ある時間で止まったまま，点滅している。	●停電があった。 ●電源プラグを一度抜いた。	●現在時刻をもう一度合わせる。 ●現在時刻をもう一度合わせる。
タイマーが作動しない。	●現在時刻を合わせていない，停電があった。 ●タイマーのON時刻を設定していない。 ●タイマーの実行指定をしていない。	●“時刻合わせのしかた”をみて現在時刻を合わせる。 ●タイマーのON時刻を設定する。 ●BAND/EXE.キーで実行指定をする。

故障と思われる症状ですが…

症　　状	原　　因	処　　置
放送局が受信できない。	●アンテナを接続していない。 ●放送バンドが合っていない。 ●受信したい放送局の周波数に合っていない。	●アンテナを接続する。 ●放送バンドを合わせる。 ●受信したい放送局の周波数に合わせる。
プリセットしたあと，数字キーを押しても受信できない。	●プリセットした放送局が，受信できない周波数である。 ●長い間，電源コンセントを抜いていたため，メモリーが消えてしまった。	●受信できる周波数の放送局をプリセットする。 ●もう一度プリセットする。
雑音が入る。	●自動車のイグニッションノイズ。 ●電気器具の影響によるもの。 ●テレビが近くにある。	●外部アンテナを道路から離して設置する。 ●電気器具の電源を切ってみる。 ●テレビから離す。

カセットデッキ部

症　　状	原　　因	処　　置
再生キーを押しても音が出ない。	●ヘッドが汚れている。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●未録音テープを再生している。	●“ヘッドのお手入れ”をみて，ヘッドを清掃する。 ●テープを交換してみる。 ●録音済テープを使う。
操作キーを押しても作動しない。	●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●カセットホルダーを閉めて，すぐ操作キーを押している。 ●電源を入れてから，3秒以内に操作キーを押している。 ●テープが入っていない。 ●巻き取りムラがありテープが重くなっている。 ●テープがどちらかに巻きとられている。	●ホルダーを完全に閉める。 ●ホルダーを閉めてから何秒か待って操作キーを押す。 ●3秒以上たってから操作キーを押す。 ●テープを入れる。 ●テープを交換してみる。 ●デッキの走行方向をかえる，またはテープを裏返す。
DPSSが誤動作する。	●曲と曲の間が短いなどDPSSに不適当なテープを使用している。	●“DPSSの使いかた”をお読みください。
CCRSが作動しない。	●デッキに録音できるテープが入っていない。 ●CD/LDプレーヤーにディスクが入っていない。(LDが入っている。) ●ディスクが汚れている。	●デッキに録音できるテープを入れ，操作をやり直す。 ●CD/LDプレーヤーにCDまたはCDVを入れ，操作をやり直す。 ●ディスクを清掃したあと，CD/LDプレーヤーに入れ，操作をやり直す。
イジェクトキーを押してもホルダーが開かない。	●録音中，または再生中に押している。	●停止状態で押す。
音がかすれたり高音が出なくなる。	●ヘッドが汚れている。 ●テープがのびたり，ワカメ状になっている。	●“ヘッドのお手入れ”をみて，ヘッドを清掃する。 ●テープを交換する。
音がひずむ。	●CRLSキーで録音レベルの設定をしていない。 ●ひずんだ音で録音されたテープを再生している。	●“普通の録音”をお読みください。 ●テープを交換する。

症　　状	原　　因	処　　置
録音キーを押しても録音できない。	●カセットテープのツメが折れている。 ●カセットホルダーが完全に閉まっていない。 ●アンプの入力切換が，TAPEになっている。 ●テープがどちらかに巻きとられている。	●ツメの折れていないテープを使う，または穴をふさぐ。 ●ホルダーを完全に閉める。 ●入力切換を録音したいソースにする。 ●デッキの走行方向をかえる，またはテープを裏返す。
雑音が大きい。	●ヘッドが磁気を帯びている。 ●外部の雑音を誘導している。 ●ドルビーNRをONで録音したテープを，OFFで再生している。	●"ヘッドのお手入れ"をみて，消磁する。 ●電気器具，テレビなどから離す。 ●DOLBY NRキーでBかCにする。
音がふるえる。	●キャプスタン，ピンチローラーが汚れている。 ●テープに巻き取りムラがある。	●"ヘッドのお手入れ"をみて，ヘッドを清掃する。 ●テープの端から端まで通して早送り，巻戻し，または再生をして巻き直す。

CD/LDプレーヤー関係

症　　状	原　　因	処　　置
POWERスイッチを押しても電源が入らない。	●電源プラグの差し込みが不完全。	●電源プラグをコンセントにしっかり差し込み直してください。
音（映像）が出ない。	●再生状態になっていない。 ●接続コードがしっかり差し込まれていない。 ●ディスクが入っていない。 ●ディスクがずれている。 ●ディスクがひどく汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●信号が記録されていない面を再生している。 ●光学レンズに露がついている。 ●テレビの電源が入っていない。 ●テレビの入力切換スイッチがあっていない。	●PLAYキー▶を押す。 ●しっかりと接続する。 ●ディスクを入れて再生する。 ●ディスクを正しく入れ直す。 ●ディスクを清掃してから再生する。 ●ディスクを取り換える。 ●ディスクを裏返して正しく入れ直す。 ●"露付きにご注意"をみて，露を蒸発させる。 ●テレビの電源を入れる。 ●ビデオ側にする。
音とびがする。	●ディスクが汚れている。 ●ディスクに傷がついている。 ●本機に震動が加わっている。	●ディスクを清掃してから再生する。 ●ディスクを取り換える。 ●震動のない場所に設置する。
再生が始まるまで時間がかかる。	●ディスクの種類やサイズの検出，モーターの回転を安定させるためで，故障ではありません。	●ディスクによって異なりますが，約10～20秒程度まちます。
トレイが自動的にオープンする。	●ディスクが斜めに入っている。	●ディスクを入れ直す。

カラオケ関係

症　　状	原　　因	処　　置
HiFi音多にならない。	●再生しているディスクがデジタル音声付マルチオーディオディスクでない。	● CD VIDEO LD と MULTI AUDIO マークのあるディスクのみ動作する。
ヒットマスターキーを押してもボーカルが消えない。	●CD, テープ, 外部入力等で再生ディスクと音声モードがあっていない。	●再生ディスクと音声モードをあわせる。
メロディーアシストキーを押しても歌手の声と入れ替わらない。	●マイクボリュームが小さい。 ●歌声が小さい。 ●CD, テープ, 外部入力等で再生ディスクと音多モードがあっていない。	●マイクボリュームを上げる。 ●大きな声で歌う。 ●再生ディスク（テープ）と音声モードをあわせる。
音多ディスクを再生してもボーカルがでない。	●メロディーアシストがONになっていない。	●メロディーアシストをONにする。

AVコントロールマスターは，回路素子保護のため冷却用のファンを内蔵しています。温度の上昇により自動的にファンが作動します。

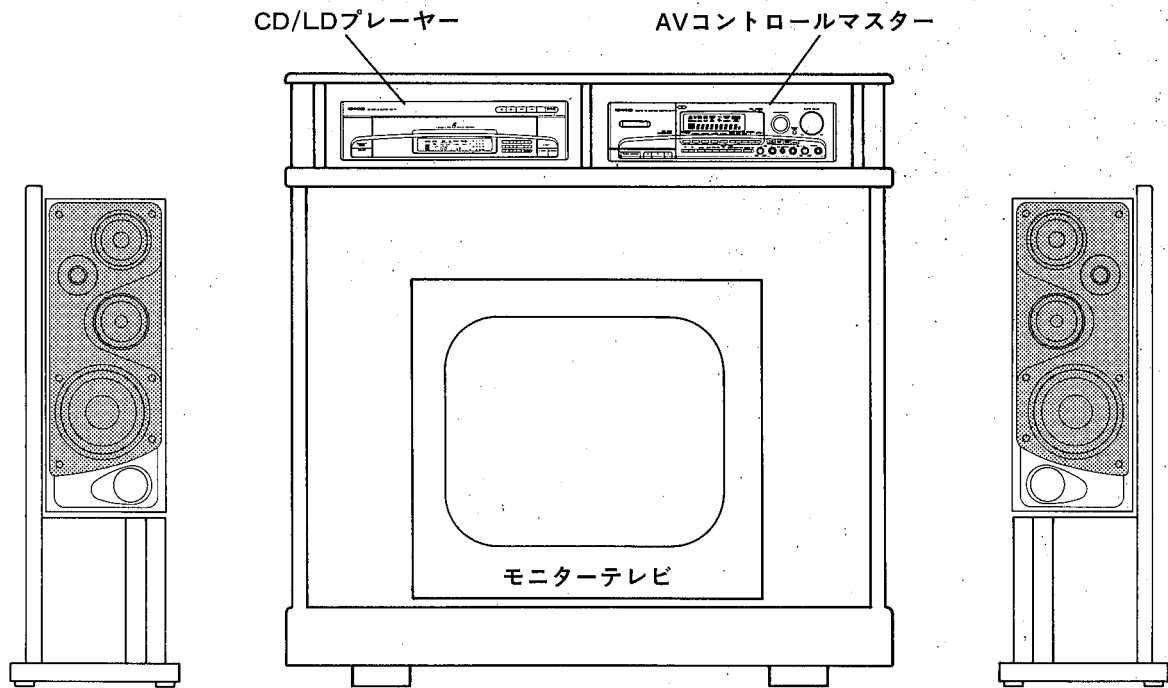
ご注意：
1.本システムはマイコンを使用していますので，外部からの雑音や，妨害ノイズにより，正常に動作しないことがあります。そのような場合，電源コードを一度抜いてからあらためてご使用ください。
2.接点復活剤は，故障の原因となることがありますので，ご使用にならないでください。特にオイルを含んだ接点復活剤は，プラスチック部品を変形させることがあります。
3.テープの種類によっては，自動的にテープが止まったときに“キュー”という音がすることがあります。これはテープ保護機構が働くためで，故障ではありません。
4.110/120分テープは，テープ厚がうすくてワカメ状になりやすいため，ご使用にならないでください。

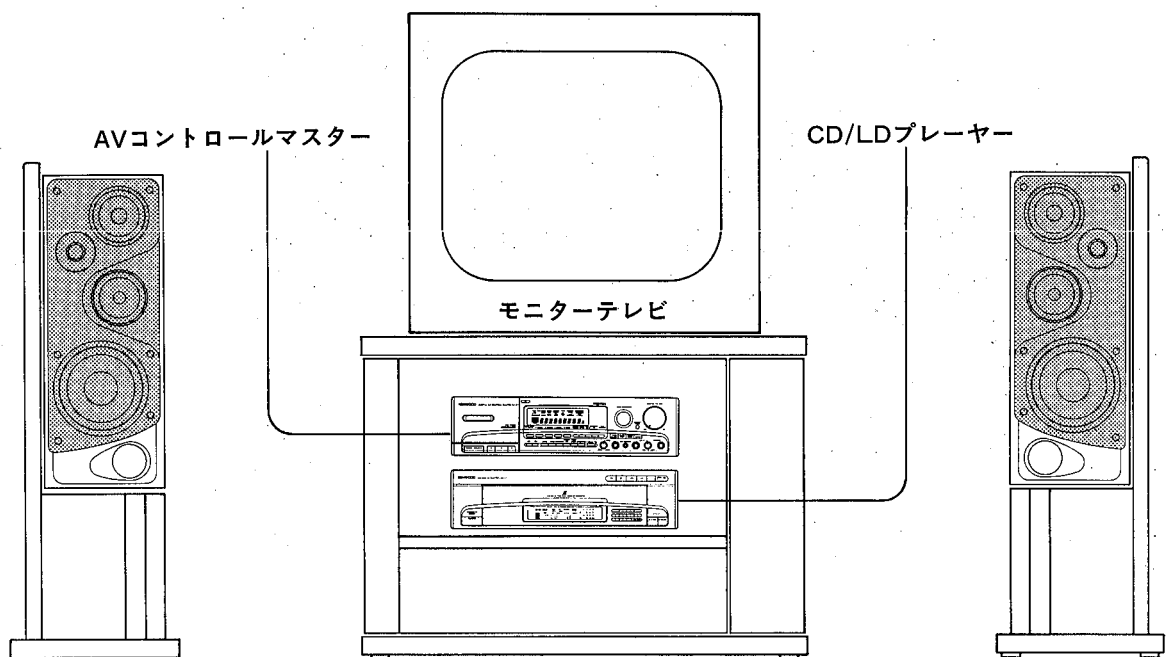
熱についてのご注意

放熱のご注意

本機の内部には，温度上昇する部分がありセット上面が熱くなります。十分な放熱がおこなわれる様上下の通風孔をふさがないでご使用ください。ラックに収納する際は下の図の様に正しくセッティングしてください。
なお，セット内の温度が上昇すると，内蔵の冷却ファンが自動的に作動します。

SRM-V 7 と組み合わせる場合

AVコントロールマスターを向かって右側に入れます。

SRM-V 5 と組み合わせる場合

AVコントロールマスターをCD/LDプレーヤーの上に置きます。

アフターサービスについて

1．**保証書ー**この商品の保証書は別途添付しております。必ず所定事項の記入および記載内容をご確認いただき，大切に保管してください。
2．**保証期間ー**お買上げの日より**1年間**です。
正常なご使用状態でこの期間内に万一故障を生じた場合には，保証書の記載内容によりお買上げの販売店またはケンウッドの営業所が**無料修理**いたします。
3．**保証期間経過後の修理**については，お買上げの販売店またはケンウッドの営業所にご相談ください。修理によって機能が維持できる場合には，お客様のご要望により**有料修理**いたします。
4．**補修用性能部品の最低保有期間**は製造打切後**8年間**です。性能部品とは，その製品の機能を維持するために必要な部品です。
5．アフターサービスについてご不明な点は，お買上げの販売店またはケンウッドの営業所に，ご遠慮なくご相談ください。

サービス依頼について

本機の修理を依頼されるときは，本体のままお渡しにならないで，必ず何かに包装してお渡しください。
本体のまま修理にだされますと，途中の事故等で外観に傷がつく恐れがありますのでご注意ください。

※包装材はアフターサービスや引越しの際大切な機器を保護するためにご利用ください。

修理のため，お買上げの販売店またはケンウッドの営業所に，セットをお持ちになるときは，お買上げのセット全部をお持ちください。(スピーカーを除きます。)

ドルビーノイズリダクションおよびHX PROヘッドルームエクステンションは,ドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
HX PROは，バング アンド オルフセンの考案です。
ドルビー，DOLBY，ダブルD記号DDおよびHX PROは，ドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの商標です。

ドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションからの実施権に基づき製造されています。
ドルビー，DOLBYおよびダブルD記号DDは，ドルビー ラボラトリーズ ライセンシング コーポレーションの商標です。

あなたが録音または録画したものは，個人として楽しむなどのほかは，著作権法上，権利者に無断では使用できません。

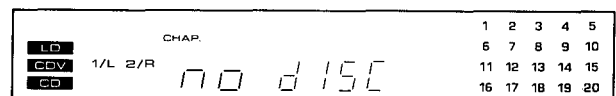
メモリーバックアップ	
電源プラグをコンセントから抜くとすぐ消えるメモリーの内容	AVコントロールマスターの時間表示
電源プラグをコンセントから抜いて最低3日で消えるメモリーの内容	AVコントロールマスターのプリセット放送局

ステレオ音のエチケット

楽しい音楽も，時と場所によっては気になるものです。隣り近所への配慮を十分いたしましょう。ステレオの音量は，あなたの心がけ次第で大きくも小さくもなります。特に静かな夜間には，小さな音でも通りやすいものです。夜間の音楽鑑賞には，特に気を配りましょう。窓を閉めたり，ヘッドホンをご利用になるのも一つの方法です。お互いに心を配り，快い生活環境を守りましょう。

輸送時または移動時のご注意

本機を輸送するときや，移動するときは，下記の操作を行ってください。

1.ディスクを入れないで電源をONにします。
2.数秒間待って，ディスプレイ部が図の表示になったことを確かめてください。

3.電源をOFFにします。

定 格

AVコントロールマスター（RX-V7）

アンプ部

オーディオ部

出力
　実用最大出力フロント（EIAJ，6Ω）………60W＋60W
　　　　　　　プレゼンス（EIAJ，8Ω）……30W＋30W
　　　　　　　リア（EIAJ，8Ω）……………30W＋30W
全高調波ひずみ率
　（1kHz，1/2定格出力，6Ω）……………………0.03%
周波数特性（CD/LD）…20Hz〜50kHz ＋0dB，－3dB
S/N比
　CD/LD……………………82dB（EIAJ）/92dB（IHFA）
入力感度/インピーダンス
　CD/LD，VIDEO，AUX……………………200mV/47kΩ
出力レベル/インピーダンス
　VIDEO OUT…………………………………200mV/270Ω

ビデオ部

入力端子（感度/インピーダンス）
　VIDEO（コンポジット）……………………… 1 V_{P-P}/75Ω
　入力端子（LD，VIDEO IN，AUX）
出力端子（レベル/インピーダンス）
　VIDEO（コンポジット）……………………… 1 V_{P-P}/75Ω
　出力端子（VIDEO OUT，MONITOR OUT）

チューナー部

【FMチューナー部】
受信周波数範囲 ……………………………76MHz〜90MHz
アンテナインピーダンス ……………75Ω不平衡/300Ω平衡
実用感度（モノラル）……………10.8dBf（0.95μV，75Ω）
高調波ひずみ率モノ …………………………0.3%（1kHz）
　　　　　　　ステレオ ……………………0.5%（1kHz）
S/N比　　　　モノ …………………77dB（65dBf入力時）
　　　　　　　ステレオ ……………73dB（65dBf入力時）
ステレオセパレーション ……………………45dB（1kHz）
実効選択度（±400kHz）……………………………53dB
周波数特性……………30Hz〜15kHz，＋0.5dB，－3.5dB

【AMチューナー部】
受信周波数 ………………………………531kHz〜1602kHz
実用感度………………………………12μV（400μV/m）
S/N比 ………………………………………………49dB

カセットデッキ部

トラック方式……………4トラック2チャンネルステレオ
録音方式…………………交流バイアス（周波数：105kHz）
ヘッド
　録音/再生用 ……………………………………………1
　消去用……………………………………………………1
モーター……………………………………………………1
早巻き時間 ……………………………………約110秒（C-60）
周波数特性
　ノーマルテープ…………………30Hz〜18,000Hz± 3dB
　クロムテープ……………………30Hz〜19,000Hz± 3dB
　メタルテープ……………………30Hz〜20,000Hz± 3dB
S/N比
　DOLBY C NR ON（メタルテープ）………………75dB
ひずみ率（1kHz，3rdH.D.メタルテープ）………0.7%
ワウ・フラッター ……………………0.06%（W.R.M.S.）

【電源部・その他】
電源電圧・電源周波数 ………………AC100V，50Hz/60Hz
定格消費電力（電気用品取締法に基づく表示）………190W
最大外形寸法 ……………………………………幅 440mm
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　高さ127mm
　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　奥行398mm
重量（正味）…………………………………………12.3kg

これらの定格およびデザインは，技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

定　格

レーザーディスクプレーヤー（LVD-V7）

【形式】

形式 ……………………………CD/CDV/LDプレーヤー
読み取り方式 …非接触光学式読み取り（半導体レーザー）
信号方式……………………………………NTSC方式

【特性】

デジタルオーディオ部
　周波数特性…………………4Hz～20kHz（EIAJ）
　S/N比 ………………………107dB以上（EIAJ）
　全高調波ひずみ率 ………0.008%以下（1kHz）（EIAJ）
　チャンネルセパレーション…95dB以上（1kHz）（EIAJ）
　ワウ＆フラッター………測定限界以下
　　（±0.001%W.PEAK）（EIAJ）
出力レベル/インピーダンス
　オートデジタル端子………………………1.2V/1kΩ
　アナログ端子 ……………0.7V/1kΩ（FM 100% dev.）
ビデオ部
　映像出力レベル ……………$1V_{P-P}$（75Ω負荷，同期負）
　映像S/N比 ………………………………49dB以上
　水平解像度 ………………………………………425本
許容動作温度…………………………………5℃～40℃
許容動作湿度…………………………………5%～90%
　（結露しないこと）

【電源部・その他】

電源電圧・電源周波数 ………………AC100V 50Hz/60Hz
定格消費電力（電気用品取締法に基づく表示）………30W
最大外形寸法 ………………………………幅　440mm
　高さ127mm
　奥行396mm
重量（正味） ………………………………………8.7kg

スピーカー（S-V7）

エンクロージャー形式………………………………バスレフ

メインスピーカー

スピーカー構成……………………………………3ウェイ
　ウーハー ……………………………165mmコーン型
　スコーカー …………………………100mmコーン型
　ツィーター …………………………25mmドーム型
インピーダンス ………………………………………6Ω
最大入力………………………………………………60W
周波数帯域 ……………………………40Hz～20kHz

センター/プレゼンススピーカー

　……………………………………100mmコーン型
インピーダンス ………………………………………8Ω
最大入力………………………………………………30W

外形寸法 ……………………………………幅　210mm
　高さ550mm
　奥行247mm
重量（正味）………………………………8.0kg（一本）

これらの定格およびデザインは，技術開発に伴い予告なく変更することがあります。

アフターサービスのお問い合わせは、
購入店または最寄りの当社サービスセンター
営業所をご利用ください。
商品に関するその他のお問い合わせは、
お客様相談室をご利用ください。
電話(03)3486-5515

KENWOOD

株式会社ケンウッド
東京都渋谷区渋谷2-17-5(シオノギ渋谷ビル)〒150
電話(03)3486-5511